MITSUBISHI

三菱 自然冷媒 CO_2ヒートポンプ給湯機

季節別時間帯別電灯・時間帯別電灯（通電制御型）

取扱説明書

システム形名チェック欄 □ に、お買い上げの給湯機をチェックしてください。（修理等のお問合わせの際にご利用ください。）

システム形名

一般地向け

エスアールテー　エイチピー　ダブリュ

- □ SRT-HP37W4（370L）
- □ SRT-HP37WD4（370L）
- □ SRT-HP46W4（460L）
- □ SRT-HP46WDM4（460L）
- □ SRT-HP46WD4（460L）
- □ SRT-HP55W4（550L）

一般地向け〈ハイパワー給湯タイプ〉

エスアールテー　エイチピー　ダブリュウユー

- □ SRT-HP37WU4（370L）
- □ SRT-HP46WU4（460L）

一般地向け〈薄型〉

エスアールテー　エイチピー　ダブリュウゼット

- □ SRT-HP37WZ4（370L）
- □ SRT-HP43WZ4（430L）

集合住宅向け

エスアールテー　エイチピー　ダブリュウデー

- □ SRT-HP30WD4（300L）

寒冷地向け

エスアールテー　エイチピー　ケー　ダブリュウデー

- □ SRT-HPK37WD4（370L）
- □ SRT-HPK46WD4（460L）

※（　）はタンク容量です。
※耐塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BS」が付きます。
　耐重塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BSG」が付きます。

最初にリモコンを確認ください	2
ご使用の前に	4～9
リモコンの使いかた	10～39
こんなとき	40～51
故障かな	52～59

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「取扱説明書」を必ず読み、大切に保管してください。
- お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
- 「保証書」「据付工事説明書」「据付工事確認書」は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。給湯機を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者の方へ渡してください。

最初にリモコンを確認ください

リモコンは、「インターホンタイプ」「ベーシックタイプ」の2タイプご用意しています。
ご使用の前に必ずリモコンのタイプを確認してください。

インターホンタイプ

RMC-KD3-W/N/A（注）

RMC-BD3-W/N/A（注）

- インターホン機能付き
- 音声ガイダンス機能付き
  （本書では「◀ 音声ガイダンス」と記載）
- 表示部バックライト機能付き

ベーシックタイプ

RMC-K3

RMC-B3

- インターホン機能なし
- 音声ガイダンス機能なし
- 表示部バックライト機能付き

注.リモコン形名末尾の英字はケースの色を表しています。(-W:パールホワイト／-N:シャンパンゴールド／-A:アクアブルー)

もくじ

ご使用の前に

安全のために必ずお守りください ………… 4
ご使用にあたってのお願い ………… 6
各部のはたらき ………… 7

リモコンの使いかた

よく使う機能

リモコンのはたらき ………… 10
おふろにお湯を入れる ………… 14
湯はりの温度を決める ………… 16
湯はりの量を決める ………… 17
「蛇口・シャワー」の温度を決める ………… 18
追いだきをする ………… 19
熱いお湯をたす（高温さし湯） ………… 20
お湯をたす ………… 21
ぬるくする ………… 22
インターホンを使う ………… 23
呼び出しをする ………… 24
時刻を合わせる ………… 25
予約した時間におふろにお湯を入れる ………… 26
音声ガイダンスの音量を調節する ………… 27
たくさんお湯を使う（わき増し） ………… 28
わき上げモードを設定する ………… 29
ふろ自動運転の継続時間を変更する ………… 30
数日間わき上げを停止するとき ………… 31
自動消灯モード ………… 32
残湯量表示 ………… 33
タンク内温度を表示する ………… 34
お湯の使用量を表示する ………… 35
高温さし湯の量を切り替える ………… 36
凍結予防運転を入/切する ………… 36
自動たし湯を入/切する ………… 37
洗浄 ………… 38
サブリモコンをご使用の場合 ………… 39

こんなとき

お手入れと点検 ………… 40
凍結防止 ………… 42
停電・断水時（水が濁る）など ………… 43
長期間使用しない ………… 44
タンクに水を入れる（準備） ………… 46
災害時にタンクの水を取り出す ………… 48
定期点検（有料） ………… 49
仕様 ………… 50
機器の役割など ………… 51

故障かな

故障かな?と思ったら ………… 52
リモコンにエラーが表示された場合 ………… 57
アフターサービス ………… 58

ご使用の手順

①必ずお読みください。

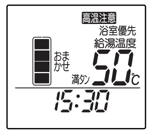
「安全のために必ずお守りください」P.4
「ご使用にあたってのお願い」P.6

※お使いになる際に、必ず守っていただきたいことが記載してあります。

②台所リモコンの表示を確認します。

表示が点灯している

▶そのままご使用できます。（③へ）



点灯時（例）

「残湯なし」の表示がでている場合は満タンスイッチを押してください。約8時間でタンク全体のお湯をわかします。

表示が消灯している

または

タンクに水が入っていない方

▶タンクに水を入れる P.46 に従ってください。

③お湯を使ってみましょう。

蛇口やシャワーを使う

- 蛇口やシャワーの温度を決める

おふろに入る

- 湯はりの温度と量を決める
- おふろにお湯を入れる

④お手入れをします。

- 日常のお手入れ P.40
  時刻の確認・浴槽アダプターの掃除・注水洗浄など
- 1年に2～3回のお手入れ P.40

早見表

項目	ボタン	ページ
おふろにお湯を入れる	ふろ自動	P.14
湯はりの温度を決める	△温度▽	P.16
湯はりの量を決める	＋湯量－	P.17
「蛇口・シャワー」の温度を決める	優先 ▶ ▲温度▼	P.18
追いだきをする	あつく（3秒押し）	P.19
熱いお湯をたす	たっぷり あつく（3秒押し） 同時3秒押し	P.20
お湯をたす	たっぷり	P.21
ぬるくする	ぬるく	P.22
インターホンを使う	通話	P.23
呼び出す	呼出	P.24
時刻を合わせる	時計合わせ 3秒押し ▶ △選択▽	P.25
わき上げモードを設定する	わき上げ設定	P.29

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

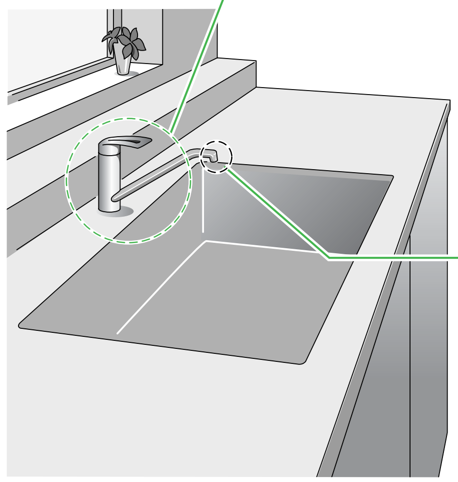
⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

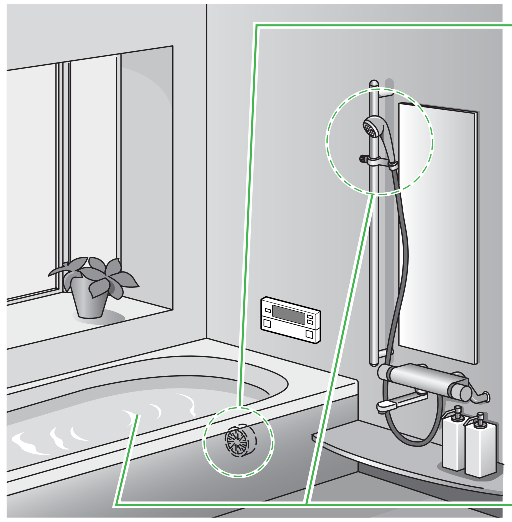
■本文中や機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。

⃠	禁止	❗	指示に従う	⚠	感電注意	⚠	高温注意	⚠	発火注意	⚠	回転物注意

やけどを防ぐために!

⚠警告





- （やけど注意）**給湯時は、湯水混合栓に手を触れない**
- **使いはじめは、湯温を確認する**
  特に朝の使いはじめは、しばらくお湯に触れないでください。
  空気の混ざった湯が飛び散ることがあります。
- （やけど注意）**「あつく」スイッチを使用するときは、浴槽アダプターから離れる**
- **入浴時やシャワー使用時は、必ず、指先などで湯温を確認する**
- （やけど注意）ヒートポンプ配管に手を触れない
- 給湯温度を変更するときは、他の蛇口の使用状況を確認する

部品名は各部のはたらき（P.7～P.9）をご覧ください。

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

安全に使用するために

⚠警告

- **浴槽アダプターのカバーを外したまま使用しない**
  髪の毛等を吸い込まれるなど思わぬ事故を起こすことがあります。
- （分解禁止）前面カバーや工事用窓を開けない
  改造しない
- 近くにガス類や引火物を置かない
  （ガスボンベからは2m以上離す。）
- ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンや空気吹出口に手や棒を入れない
- 異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「三菱電機修理窓口 P.59」へ連絡する

⚠注意

- **浴槽アダプターをふさがない**
  配管が故障し、水漏れすることがあります。
- **そのまま飲用しない**
  長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。
  - 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
  - 熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
  - 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼してください。
- 機器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えたりしない
  （事故・やけどの原因になります。）

機器の点検・お手入れに関する注意

⚠警告

- 漏電遮断器の動作を確認する P.40
- 逃し弁の点検をする（タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。） P.40
  ●点検時は内部の配管に手を触れない　●点検終了後、操作窓は閉じる
- （アース工事）**アース工事を確認する**
  （故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取付けは、据付工事店（販売店）へお問い合わせください。）

⚠注意

- ヒートポンプユニットの架台が傷んだ状態で使用しない
  （ヒートポンプユニットが落下、転倒し、けがをすることがあります。）
- 凍結防止対策の確認をする P.42
  （タンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。）
- 床面が防水・排水処理されているか据付工事店（販売店）へ確認する
  （水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。）
- 操作カバー・操作窓・配管カバーは閉じる
  （雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。）

長期間使用しないとき、使用を再開するとき

⚠警告

- 長期間使用しないときは、本書の手順に従って、機器と配管内の水を確実に抜く P.44
  ●排水時はお湯に手を触れない　●タンクの熱湯を直接排水しない

⚠注意

- 初めて使用するときや、使用を再開するときは、本書の手順に従う P.46

ご使用にあたってのお願い

お湯を上手に使う

わき上げモードを「おまかせ」に設定すると、お湯を効率的にわかします。

- シャワーは止めながら（髪を洗っているときは止めましょう。）
- 洗いものをするときも止めながら

貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。流しっぱなしで使用すると、湯切れの原因になります。

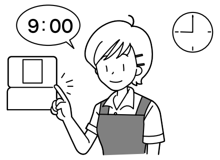
「追いだき」、「高温さし湯」についてのお願い

追いだきや高温さし湯を行うと、浴槽アダプターから、熱いお湯が出ます。お子さまや高齢者の方の取扱いについては、特に注意してください。

安全のため、あつくスイッチは3秒以上押さないとお湯が出ません。

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻がずれた場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。



時刻がずれていると、電気料金は割高になります。

必ず水道水をご使用ください

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。ただし、水質によっては、タンク・ヒートポンプユニット・減圧弁・逃し弁等の寿命が通常より短くなることがあります。
- 特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。（水質に起因した不具合が発生した場合、無償保証できません。）

入浴剤を使うときのお願い

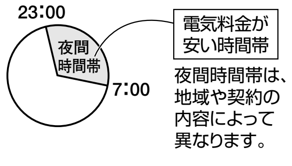
〈避けて頂きたい入浴剤〉

ふろ循環ポンプの不具合や配管等の金属腐食の原因になります。

- 炭酸ガスにより発泡させるもの
- 硫黄成分が含まれるもの
- 炭酸カルシウムを含むもの（濁り湯状にさせるもの）

夜間時間帯のご使用について

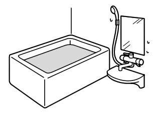
この給湯機は主に、夜間時間帯にお湯をわかしますので、**この時間帯にお湯を使うと、昼間にわき増しを行い電気代が高くなる場合があります。**

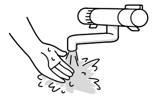


夜間時間帯は、地域や契約の内容によって異なります。

お湯の温度が低い

- 浴槽内の温度は、配管や浴槽の放熱によって、設定温度より低くなることがあります。
- 蛇口で使用するお湯は、配管の放熱によって、設定温度より低くなることがあります。





リモコンに水をかけない

- 台所リモコンは防水タイプではありません。水をかけないでください。（故障の原因）
- 浴室リモコンは防水タイプですが、なるべく水をかけないでください。（故障の原因）

機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

- 運転音や振動が気になる場所（隣家の迷惑になる場所）
- 一般地向け：最低気温がマイナス10℃以下となる場所
  寒冷地向け：最低気温がマイナス25℃以下となる場所
- ヒートポンプユニットの屋内設置
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

機器周辺部の点検

- 積雪時は機器の周囲を除雪してください。（誤動作や故障の原因）
- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものを置かないでください。（性能低下や故障の原因）

浴槽アダプターのお手入れ

- 浴槽アダプターのフィルターにゴミがつまると、追いだき等のふろ機能が正常に動作しない場合があります。こまめにお手入れを行なってください。P.40

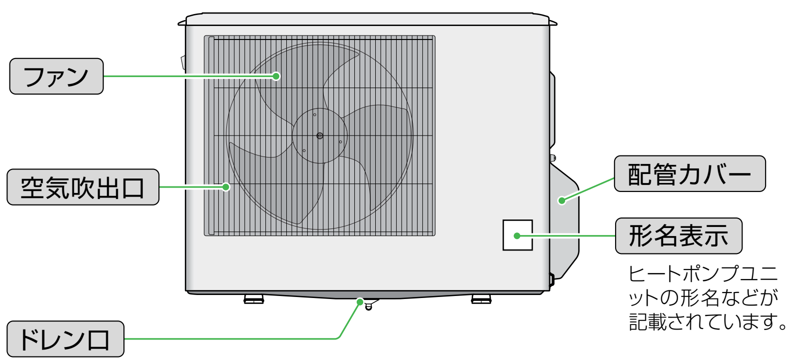
浴槽等の点検

- 浴槽や洗面台はよく洗ってください。
  青い線が付きにくくなります。

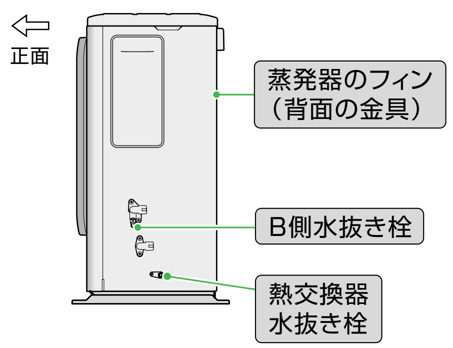
各部のはたらき

ヒートポンプユニット

〈一般地向け300L、370L、430L、460L用〉

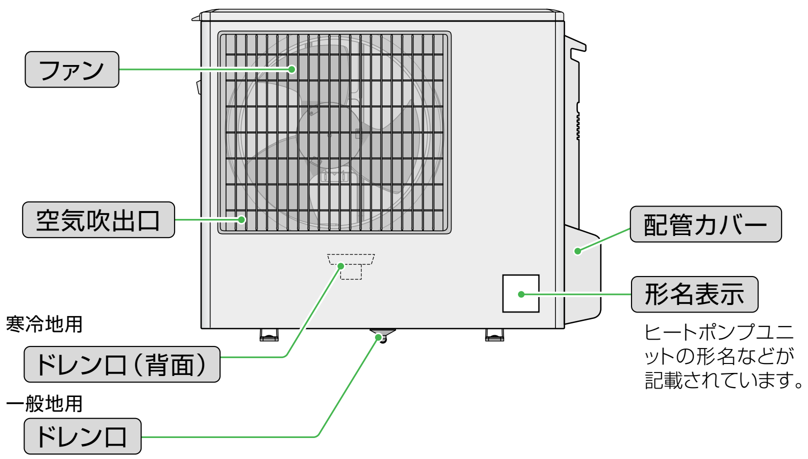


〈配管カバーを外した図〉

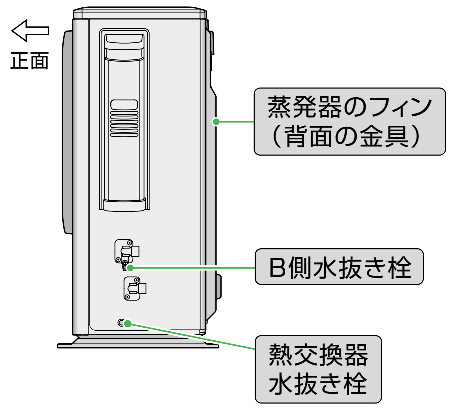


運転中はフィンに結露し、ドレン口から少量の水が出る（温度、湿度により変化します。）**ことがありますが故障ではありません。**

〈一般地向け550L、寒冷地向け用〉



〈配管カバーを外した図〉



運転中はフィンに結露し、ドレン口から少量の水が出る（温度、湿度により変化します。）**ことがありますが故障ではありません。**

配管カバーの外しかた

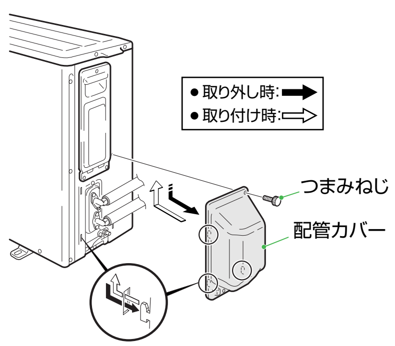
（1）つまみねじ（1本）を外す

（2）配管カバーを下方にずらしてツメを外し、手前に引く

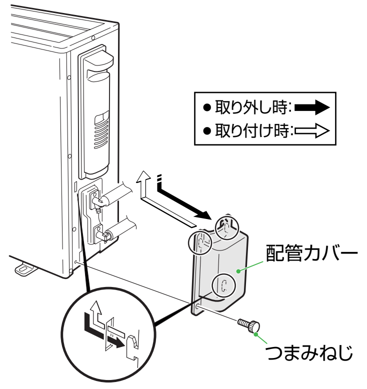
⚠警告

- ヒートポンプ配管に手を触れない（やけどの原因）

〈一般地向け300L、370L、430L、460L用〉

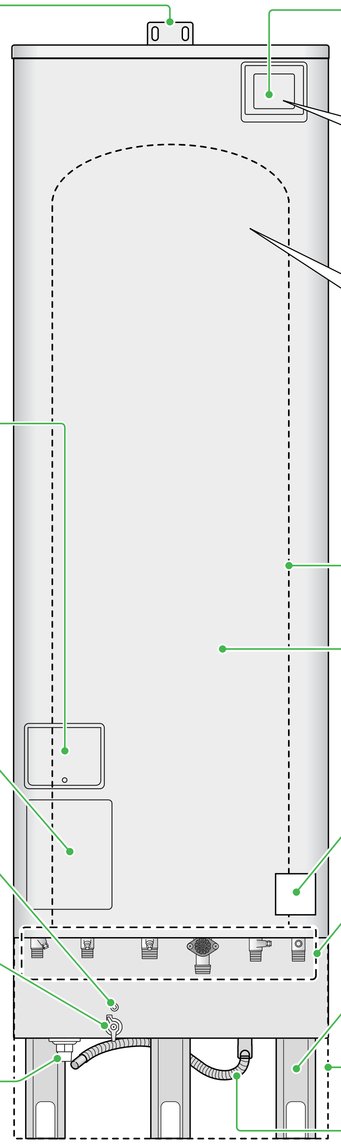


〈一般地向け550L、寒冷地向け用〉



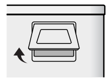
各部のはたらき（つづき）

貯湯タンクユニット 機種によって部品の取付位置や形状が異なります。

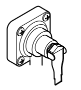


上部振れ止め金具
2階以上に据付けた場合、地震のとき製品の転倒を防ぐため、壁に固定する金具です。

逃し弁 操作窓
逃し弁の操作や点検をするときに開けます。

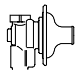


逃し弁
わき上げ時の膨張水を排出し、タンク内の圧力上昇を逃がす装置で、タンク内を一定圧力（193kPa）※1 以下にします。



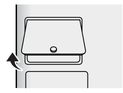
※1.ハイパワー給湯タイプは290kPa

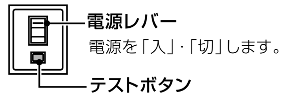
減圧弁
タンクへの給水圧力（170kPa）※2 を保ちます。



※2.ハイパワー給湯タイプは260kPa

操作カバー
漏電遮断器の動作点検をするときに開けます。
つまみねじを回して開けます。





タンク

前面カバー

工事用窓
絶対に開けないでください。

形名表示
貯湯タンクユニットの形名などが記載されています。

非常用取水栓
非常の際には、タンクの水（お湯）を取り出して生活用水として利用できます。P48

水抜き栓
下記参照

排水栓
タンクのお湯を排水するときに使用します。P44

脚

脚部カバー（別売）

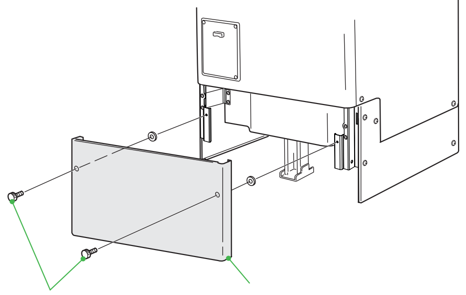
排水口
逃し弁、排水栓からのお湯（水）や湯気が出ます。

「わき上げ中」は、逃し弁からの水が少量出ますが故障ではありません。

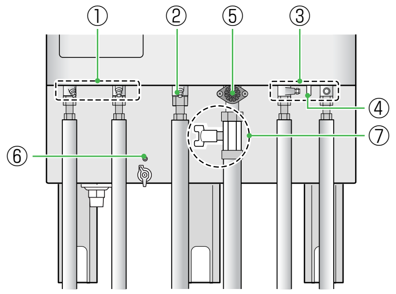
ドレンホース
万一の水漏れの場合は、ここから排水します。

脚部カバーの外しかた

（1）つまみねじ（2本）を外す
（2）脚部カバーを手前に引く



水抜き栓、ストレーナー、非常用取水栓、給水配管専用止水栓の取付位置

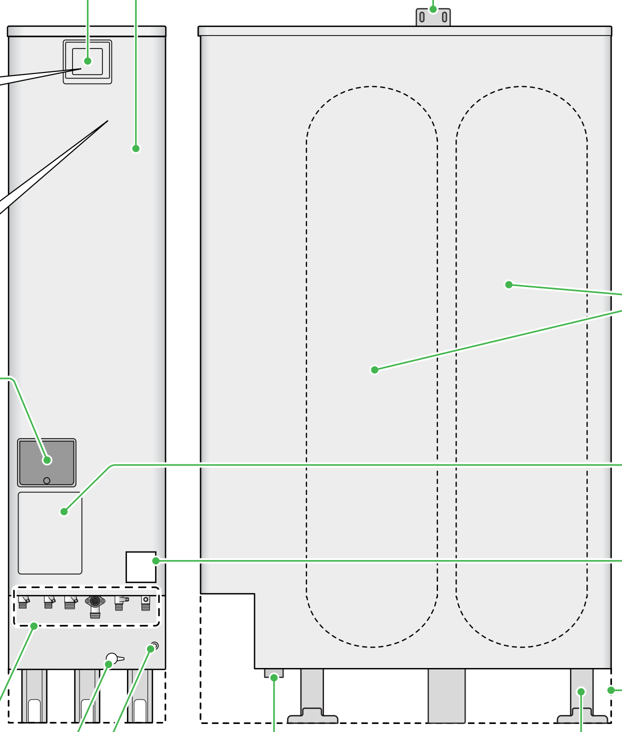


①	ヒートポンプ配管用水抜き栓
②	給湯配管用水抜き栓
③	ふろ配管用水抜き栓
④	ふろ循環ポンプ用水抜き栓
⑤	ストレーナー
⑥	非常用取水栓
⑦	給水配管専用止水栓

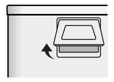
「⑦給水配管専用止水栓」が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。
異常がありましたら、「⑦給水配管専用止水栓」を止めてください。

各部のはたらき（つづき）

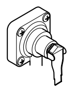
貯湯タンクユニット〈薄型〉



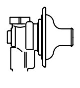
逃し弁 操作窓
逃し弁の操作や点検をするときに開けます。



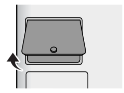
逃し弁
わき上げ時の膨張水を排出し、タンク内の圧力上昇を逃がす装置で、タンク内を一定圧力（193kPa）以下にします。

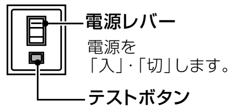


減圧弁
タンクへの給水圧力（170kPa）を保ちます。



操作カバー
漏電遮断器の動作点検をするときに開けます。
つまみねじを回して開けます。





水抜き栓
下記参照

排水栓
タンクのお湯を排水するときに使用します。P44

非常用取水栓
非常の際には、タンクの水（お湯）を取り出して生活用水として利用できます。P48

前面カバー

上部振れ止め金具
2階以上に据付けた場合、地震のとき製品の転倒を防ぐため、壁に固定する金具です。

タンク

工事用窓
絶対に開けないでください。

形名表示
貯湯タンクユニットの形名などが記載されています。

脚部カバー（別売）

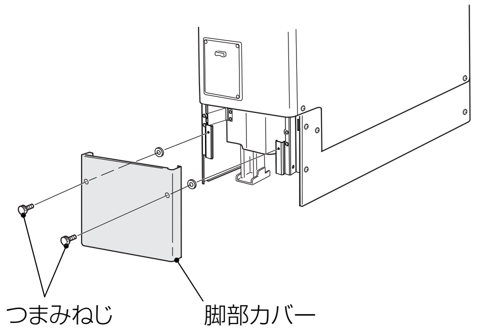
脚

排水口
逃し弁、排水栓からのお湯（水）や湯気が出ます。

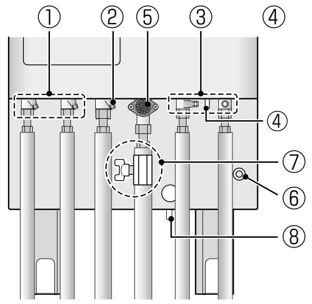
「わき上げ中」は、逃し弁からの水が少量出ますが故障ではありません。

脚部カバーの外しかた

（1）つまみねじ（2本）を外す
（2）脚部カバーを手前に引く



水抜き栓、ストレーナー、非常用取水栓、給水配管専用止水栓の取付位置



①	ヒートポンプ配管用水抜き栓
②	給湯配管用水抜き栓
③	ふろ配管用水抜き栓
④	ふろ循環ポンプ用水抜き栓
⑤	ストレーナー
⑥	非常用取水栓
⑦	給水配管専用止水栓
⑧	ヒートポンプ給水配管用水抜き栓

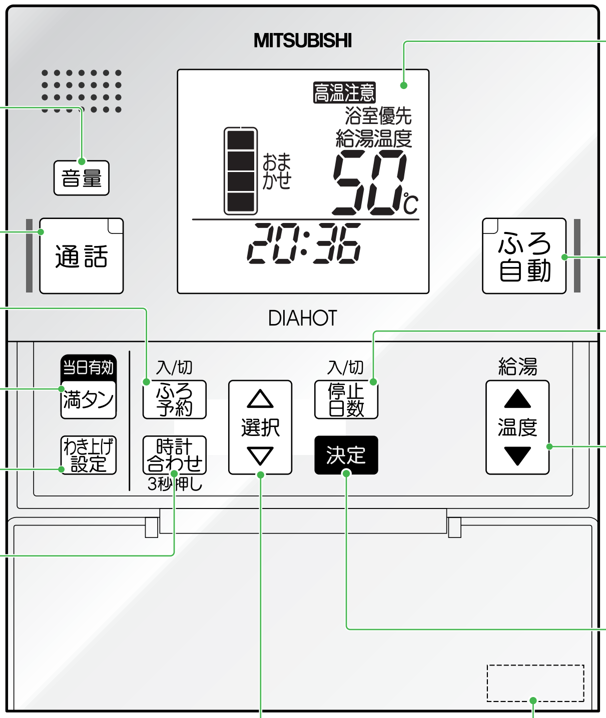
「⑦給水配管専用止水栓」が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。
異常がありましたら、「⑦給水配管専用止水栓」を止めてください。

リモコンのはたらき（インターホンタイプ）

台所リモコン

フタを開けた状態です。

形名:RMC-KD3-W/N/A（アールエムシー ケーデー ダブリュウ エヌ エー）

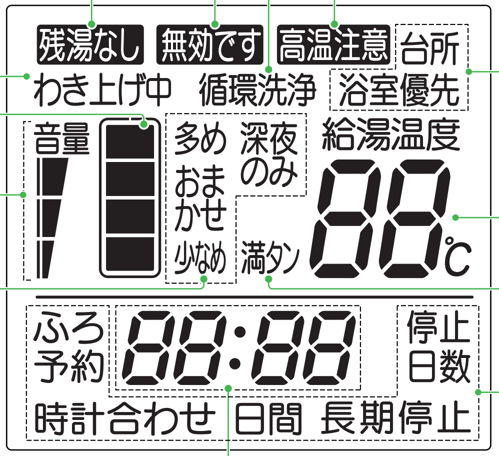


- 音声ガイダンスの音量、通話音量を設定できます。 P23 P27
- 浴室リモコンと通話できます。 P23
- 予約した時間におふろにお湯をはれます。 P26
- タンク内の湯のわき増しができます。 P28
- わき上げモードを設定します。 P29
- 現在時刻を設定したり、変更するとき使用します。 P25
- バックライト付き
  ※約1分間以上、スイッチ操作や音声ガイダンスがない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。（バックライト自動消灯機能）
- おふろにお湯をはれます。 P14
- 数日間給湯機のわき上げを停止するときに使用します。 P31
- 蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P18
  また、スマート機能の設定を変更するスイッチです。
- 各機能の設定値を確定するスイッチです。また、3秒押しでスマート機能の表示・設定を行えるようになります。
- 各機能の設定値を変更するスイッチです。また、スマート機能の表示・設定中は、下記スマート機能の選択を行えるようになります。
- リモコン形名表示

スマート機能（台所リモコン）

- ●タンク内温度表示 P34 ●電力契約モード確認 P47
- ●お湯の使用量表示 P35

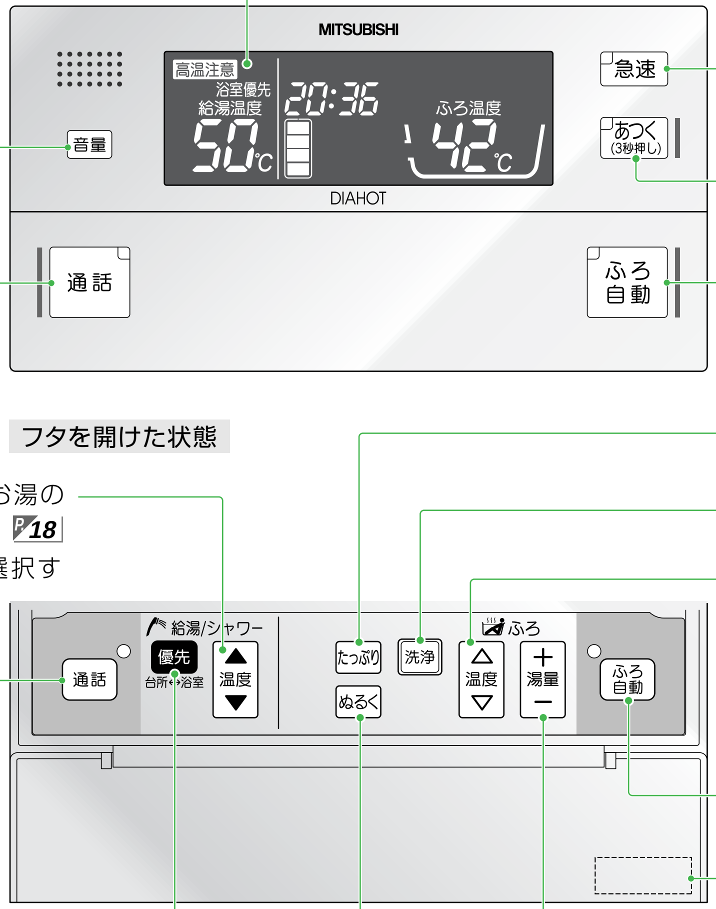
表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）



- 操作が無効のときに点滅
- タンク内のお湯が少なくなると点滅または点灯
- わき上げ時に点灯
- 残湯量（お湯の量）を表示
- 音声ガイダンスの音量設定時または、通話中に表示
- わき上げモードを表示
- 現在時刻、ふろ予約時刻、停止日数、タンク内温度などを表示
- 循環洗浄中に表示
- 高温（50℃、60℃）の給湯温度設定時に点灯
- 給湯温度を変更できるリモコンを表示
- 給湯温度を表示
- 満タンわき増し設定時に点灯
- 現在時刻、ふろ予約時刻、停止日数の設定時に表示

浴室リモコン

形名:RMC-BD3-W/N/A（アールエムシー ビーデー ダブリュウ エヌ エー）



- バックライト付き
  ※自動消灯モード設定中は、約10分間以上、スイッチ操作や給湯動作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。
- 音声ガイダンスの音量、通話音量を設定できます。 P23 P27
- 台所リモコンと通話できます。 P23
- おふろのあたためかたを切り替えます。 P19 P20
- おふろの温度を上げます。 P19 P20
- おふろにお湯をはれます。 P14

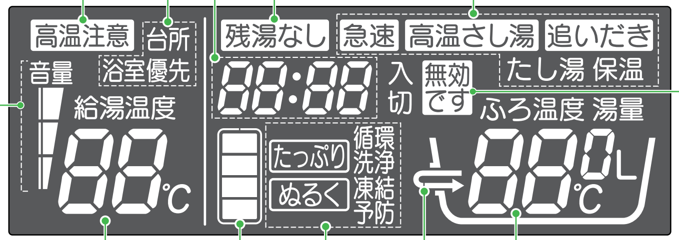
フタを開けた状態

- 蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P18
  また、スマート機能を選択するスイッチです。
- 台所リモコンと通話できます。 P23
- 給湯温度が変更可能なリモコンを切り替えます。3秒押しで自動消灯モードの設定／解除を行えます。 P18 P32
- おふろにさし水をして温度を下げます。 P22
- おふろにたし湯をします。 P21
- ふろ配管内の洗浄をします。 P38
- 湯はりの温度を設定します。 P16
  また、スマート機能の設定を変更するスイッチです。
- おふろにお湯をはれます。 P14
- リモコン形名表示
- 湯はりの量を設定します。 P17
  [－]の3秒押しでスマート機能の設定を行えるようになります。

スマート機能（浴室リモコン）

- ●ふろ自動継続時間 P30 ●凍結予防運転 P36
- ●高温さし湯量 P36 ●自動たし湯モード P37

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）



- 現在時刻などを表示
- 給湯温度を変更できるリモコンを表示
- 高温（50℃、60℃）の給湯温度設定時に点灯
- 音声ガイダンスの音量設定時または、通話中に表示
- 給湯温度を表示
- 残湯量（お湯の量）を表示
- 各機能（たっぷり、ぬるく、注水洗浄、循環洗浄、凍結予防）の動作中に点灯
- タンク内のお湯が少なくなると点滅または点灯
- 各機能（追いだき、高温さし湯、たし湯、保温）の動作中に点灯
- 操作が無効のときに点滅
- 通常は湯はり温度を表示（湯はり湯量設定時は湯量を表示）
- おふろへの給湯状態を表示

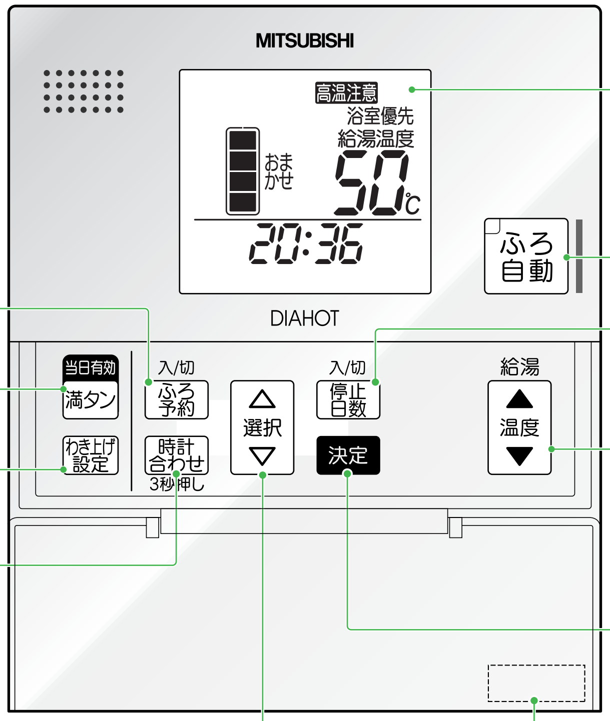
ご使用の前に　使いかた　こんなとき　故障かな

リモコンのはたらき（ベーシックタイプ）

台所リモコン

フタを開けた状態です。

形名：RMC-K3（アールエムシー ケー）



バックライト付き
※約1分間以上、スイッチ操作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。（バックライト自動消灯機能）

おふろにお湯をはれます。 P14

数日間給湯機のわき上げを停止するときに使用します。 P31

蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P18
また、スマート機能の設定を変更するスイッチです。

各機能の設定値を確定するスイッチです。また、3秒押しでスマート機能の表示・設定を行えるようになります。

リモコン形名表示

予約した時間におふろにお湯をはれます。 P26

タンク内の湯のわき増しができます。 P28

わき上げモードを設定します。 P29

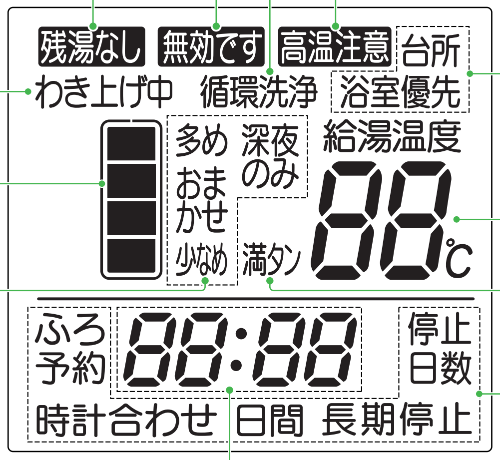
現在時刻を設定したり、変更するとき使用します。 P25

各機能の設定値を変更するスイッチです。
また、スマート機能の表示・設定中は、下記スマート機能の選択を行えるようになります。

スマート機能（台所リモコン）

- タンク内温度表示 P34
- 電力契約モード確認 P47
- お湯の使用量表示 P35

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）



操作が無効のときに点滅

タンク内のお湯が少なくなると点滅または点灯

わき上げ時に点灯

残湯量（お湯の量）を表示

わき上げモードを表示

現在時刻、ふろ予約時刻、停止日数、タンク内温度などを表示

循環洗浄中に表示

高温（50℃、60℃）の給湯温度設定時に点灯

給湯温度を変更できるリモコンを表示

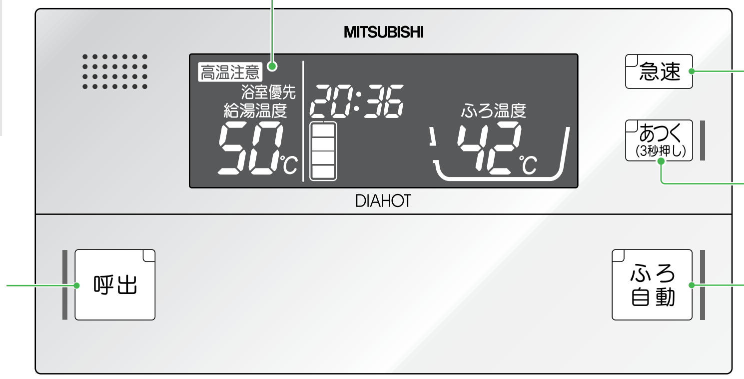
給湯温度を表示

満タンわき増し設定時に点灯

現在時刻、ふろ予約時刻、停止日数の設定時に表示

浴室リモコン

形名：RMC-B3（アールエムシー ビー）



バックライト付き
※自動消灯モード設定中は、約10分間以上、スイッチ操作や給湯動作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。

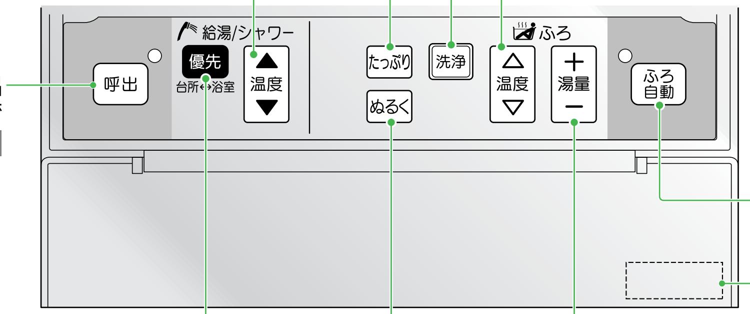
台所リモコンで呼出音を鳴らすことができます。 P24

おふろのあたためかたを切り替えます。 P19 P20

おふろの温度を上げます。 P19 P20

おふろにお湯をはれます。 P14

フタを開けた状態



蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P18
また、スマート機能を選択するスイッチです。

台所リモコンで呼出音を鳴らすことができます。 P24

給湯温度が変更可能なリモコンを切り替えます。3秒押しで自動消灯モードの設定／解除を行えます。 P18 P32

おふろにさし水をして温度を下げます。 P22

おふろにたし湯をします。 P21

ふろ配管内の洗浄をします。 P38

湯はりの温度を設定します。 P16
また、スマート機能の設定を変更するスイッチです。

おふろにお湯をはれます。 P14

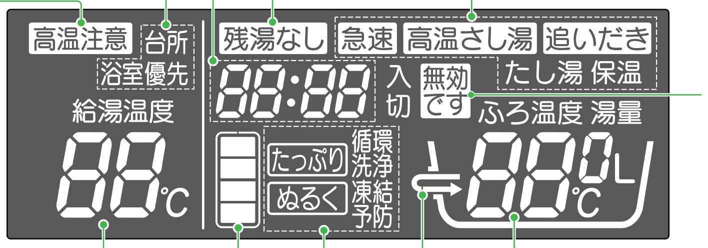
リモコン形名表示

湯はりの量を設定します。 P17
［－］の3秒押しでスマート機能の設定を行えるようになります。

スマート機能（浴室リモコン）

- ふろ自動継続時間 P30
- 凍結予防運転 P36
- 高温さし湯量 P36
- 自動たし湯モード P37

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）



現在時刻などを表示

給湯温度を変更できるリモコンを表示

高温（50℃、60℃）の給湯温度設定時に点灯

給湯温度を表示

残湯量（お湯の量）を表示

各機能（たっぷり、ぬるく、注水洗浄、循環洗浄、凍結予防）の動作中に点灯

タンク内のお湯が少なくなると点滅または点灯

各機能（追いだき、高温さし湯、たし湯、保温）の動作中に点灯

操作が無効のときに点滅

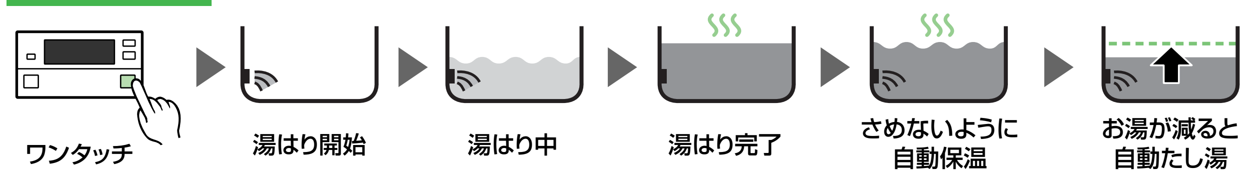
通常は湯はり温度を表示（湯はり湯量設定時は湯量を表示）

おふろへの給湯状態を表示

おふろにお湯を入れる

この給湯機は、おふろにワンタッチの自動運転（**ふろ自動運転**）でお湯を入れて使います。

ふろ自動運転



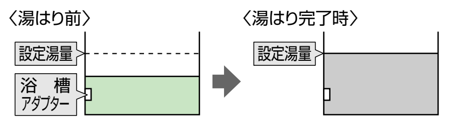
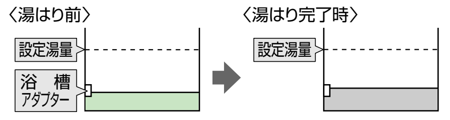
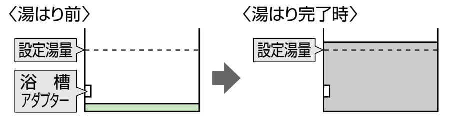
湯はり完了後、設定された時間の間、おふろの温度とお湯の量を保つ運転（「自動保温」、「自動たし湯」）がはたらきます。「自動保温」、「自動たし湯」の継続時間は4時間（工場出荷時）に設定されています。（変更可能 P.30）
また、「自動保温」のみ行い、「自動たし湯」は行わないようにすることもできます。（P.37）

ポイント

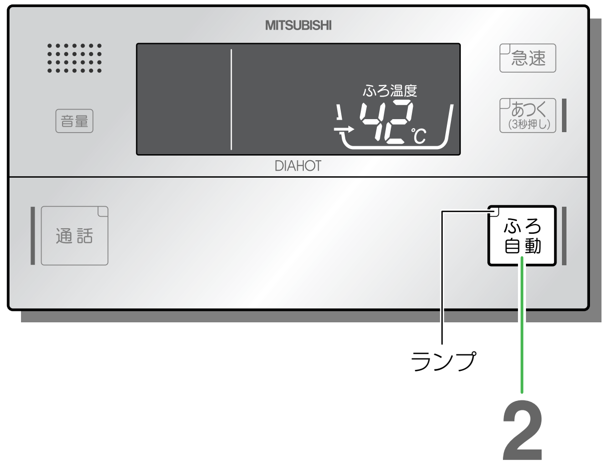
- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合は、湯はりできません。湯はり完了後に「残湯なし」が点灯している場合は「自動保温」、「自動たし湯」は、はたらきません。
- 湯はり中に蛇口からおふろにお湯（水）を入れないでください。
- 湯はり中にシャワーや台所などでお湯を使うと湯はりの時間が長くなります。
湯はりと給湯を同時に使用すると流量の低下が起こります。
- 湯はりが完了する前に（ふろ自動ランプが点滅しているときに）おふろに入らないでください。浴槽の水位が高くなったり、あふれたりすることがあります。
- 湯はり中に**水位確認のため湯はりを中断することがあります。**ふろ自動ランプが点滅していれば正常です。
- 湯はり時間は、配管施工上の条件や水源水圧、蛇口などの使用状況により、多少変わることがあります。また、**設置後1週間程度は、浴槽形状を学習するため、湯はり時間が長くなります。**
- 湯はり中またはふろ自動運転中にポンプが空気を吸い込む音がする場合があります。湯はりが終わると音はしなくなります。異常ではありません。
- 「自動保温」、「自動たし湯」中に、浴槽の湯を使用するなどして浴槽アダプター付近まで水位が低下すると、ふろ自動ランプが消灯したり、ふろ自動ランプ点灯中でも「自動たし湯」がはたらかなくなります。

こんなときは?

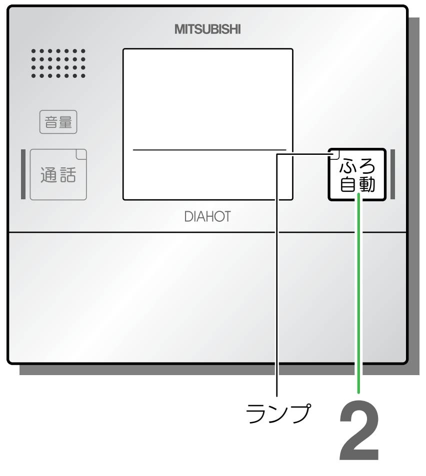
❑ジェットバスを使用する場合は、湯はり完了後にふろ自動を「切」にしてください。
❑浴槽に残り湯があるときにふろ自動スイッチを押すと、残り湯の量によって湯はり動作が異なります。
残り湯の状態によって、湯があふれたり、湯が足されないなど、湯量が安定しないことがありますので、**残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。**

残り湯が浴槽アダプターより多いとき		設定温度まで追いだきしてから、設定湯量までお湯をたします。通常の湯はりと同様に、設定した温度・水位で湯はりが完了します。なお、湯はり開始時に設定湯量以上の湯がある場合は、呼び水分だけお湯が増えます。
残り湯が浴槽アダプター付近のとき		お湯はりが途中で中断されたり、残り湯分だけお湯が増える場合があります。残り湯を排水してから湯はりを行なってください。
残り湯が浴槽アダプターより少ないとき		湯はり完了時に、残り湯分だけ、お湯が増えます。また、温度も設定した温度より低くなります。（お湯があふれる場合がありますので残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。）

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

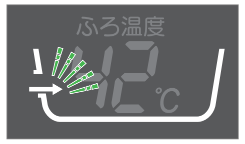


1 おふろに水がないことを確認し、おふろの栓、ふたをする

- 湯はり温度の設定方法 P.16
- 湯はり量の設定方法 P.17

2 ふろ自動 を押す

▶湯はりが始まります。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



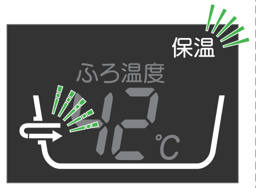
- 湯はり中は、ふろ自動ランプが点滅します。
- 途中でやめるときは、もう一度、ふろ自動スイッチを押します。
- 浴室リモコンは、浴室リモコンのフタを開けたままスイッチを押すことができます。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

3 湯はりが終わると 音声、完了音でお知らせします

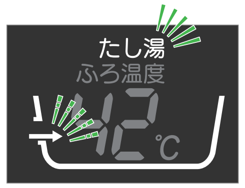
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- ふろ自動ランプが点灯にかわります。

4 設定された時間の間、「自動保温」、「自動たし湯」が働きます。



自動保温中



自動たし湯中

- 「自動保温」、「自動たし湯」は設定時間になると終了（ふろ自動ランプ消灯）しますが、再度、ふろ自動スイッチを押すと延長されます。
- **「自動保温」、「自動たし湯」中に「残湯なし」が点灯すると、ふろ自動ランプが消灯します。** P.33

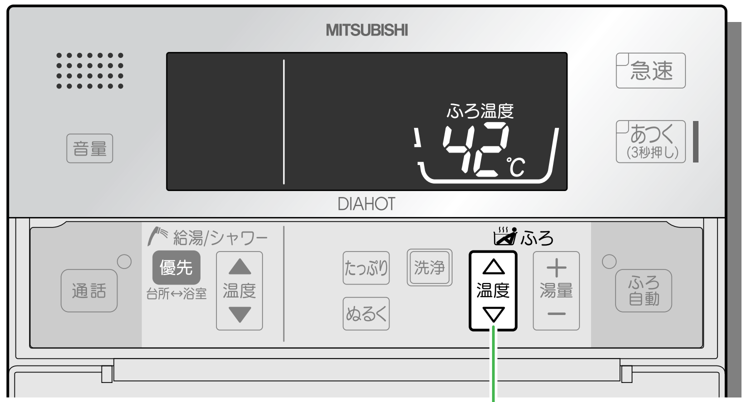
❑ 入浴後は、ふろ自動ランプが消灯していることを確認し、**お湯を排水して、注水洗浄（P.38）を行う**

- 排水するときは、ふろ自動ランプが消灯（ふろ自動ランプが点灯している場合は、ふろ自動スイッチを押し消灯させてください。）していることを確認してください。自動たし湯機能がはたらき、お湯がムダになります。

湯はりの温度を決める

最初の数回は、お好みに合わせて設定してください。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



●設定できる範囲

温度	35℃～48℃（1℃刻み） 工場出荷時は42℃

※温度は目安です。

1 ふろ温度スイッチを押して温度を設定する

例）42℃

▶ [△] を押すと1℃上がります。
[▽] を押すと1℃下がります。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

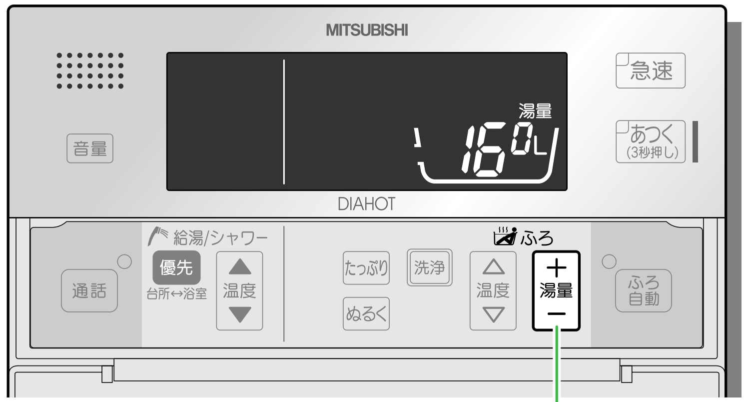
●湯はりの「温度」は目安温度です。
浴槽内の温度は配管や浴槽に熱をうばわれるため、それよりも少し下がることがあります。湯はり後の浴槽内温度が低い場合は、次回から湯はりの温度を上げて湯はりをしてください。

ポイント ●湯はり中やふろ自動中でも、湯はり温度を変更できます。ただし、湯はりが完了したときの温度が設定と異なる場合があります。

湯はりの量を決める

最初の数回は、お好みに合わせて設定してください。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

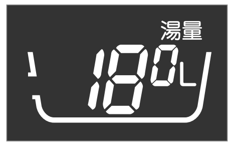


●設定できる範囲

量	100L～400L（20L刻み） 工場出荷時は180L

※量は目安です。

1 ふろ湯量スイッチを押す



例）180L

▶ふろ温度が消灯し、ふろ湯量の現在の設定値が表示されます。

2 ふろ湯量スイッチを押して湯量を設定する

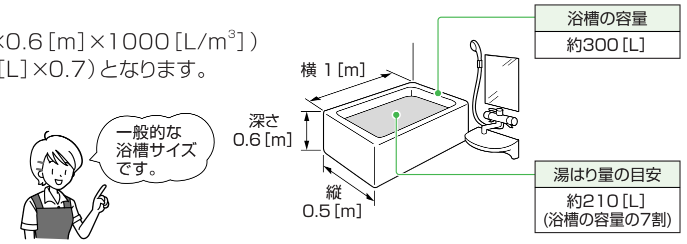
例）160L

▶ [＋] を押すと20L上がります。
[－] を押すと20L下がります。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

ポイント ●湯はりの量を設定するときは、最初は浴槽に対して少なめに設定してください。
ただし、浴槽アダプターが水中にかくれるように設定してください。

湯はり量は、浴槽の容量に対して7～8割が一般的です。
例えば、右図浴槽の場合、
浴槽の容量は約300［L］（0.5［m］×1［m］×0.6［m］×1000［L/m³］）
ですので、湯はり量の目安は、約210L（300［L］×0.7）となります。
200Lまたは220Lを設定してください。



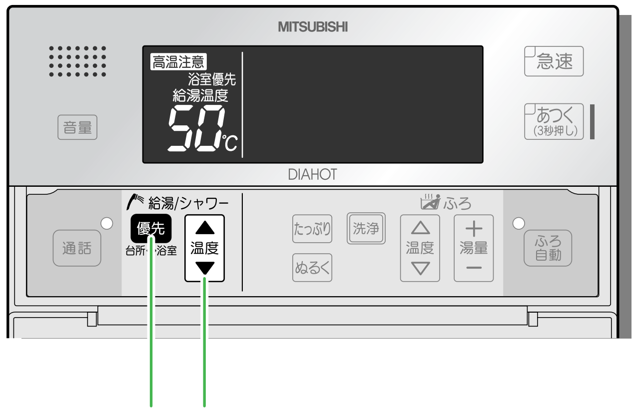
●湯はり中やふろ自動中でも、湯はり湯量を変更できます。ただし、湯はりが完了したときの湯量が設定と異なる場合があります。

「蛇口・シャワー」の温度を決める

給湯温度（蛇口・シャワーへ行くお湯の温度）は、「優先権※」のないリモコンでは設定できません。

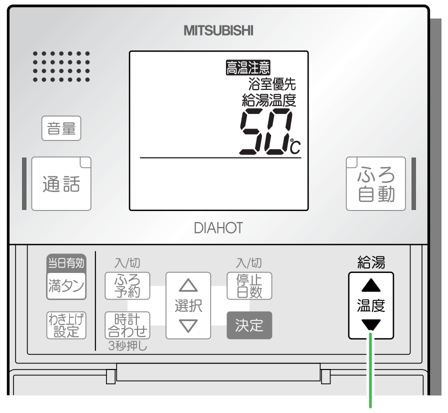
※浴室リモコンか台所リモコンのどちらか一方で給湯温度変更をできるようにすることを、そのリモコンに「優先権」を与えると呼んでいます。
例えば、浴室でシャワーを浴びているときに台所リモコンで蛇口のお湯を熱くすると、熱いお湯が出る可能性があります。この場合は、台所リモコンでの温度変更を禁止させるため、浴室リモコンに「優先権」を与えてください。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 2

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



2

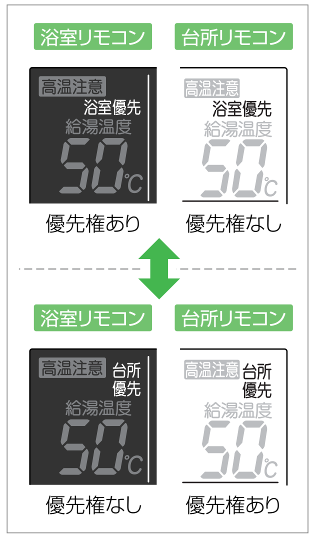
●設定できる範囲

35℃～48℃（1℃刻み）／50℃／60℃
工場出荷時は50℃

※温度は目安です。

1 浴室リモコンの 優先 を押す

▶押すごとに、優先権が移ります。
インターホンタイプは、優先権をもったリモコンが音声でお知らせします。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

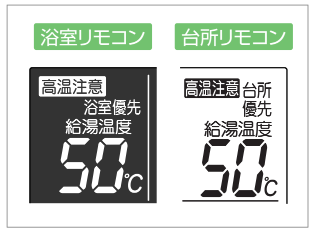


- 工場出荷時は浴室リモコンに優先権があります。
- リモコンに「優先権」がなくなったときには警告音が鳴ります。インターホンタイプは、優先権をもったリモコンが音声でお知らせします。給湯温度の表示を確認し、お湯を使用してください。
- 優先権を台所リモコンから浴室リモコンに変更した場合、給湯温度は、以前に浴室リモコンで設定された温度となります。
一方、優先権を浴室リモコンから台所リモコンに変更した場合、給湯温度は変わりません。

2 優先権のあるリモコンの 給湯温度設定スイッチを押して 給湯温度を設定する

▶ ▲ を押すと温度が上がります。
▼ を押すと温度が下がります。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



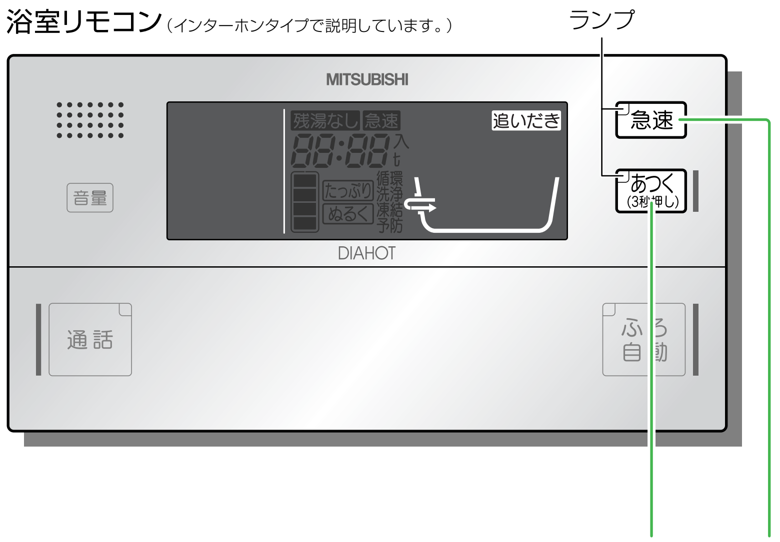
- 給湯温度を50℃または60℃に設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。
60℃に設定した場合は各リモコンから警告音が鳴ります。（インターホンタイプは、音声ガイダンスも流れます。）

ポイント
- タンク内の温度が低いとき（特にわき上げモードが「少なめ」の場合など）は、設定より低い温度のお湯が出ることがあります。
- 蛇口から出るお湯は、配管部分の放熱によって低くなることがあります。
- 給湯中に湯はり、自動たし湯、たっぷり、ぬるく、高温さし湯をすると給湯温度が多少変動することがあります。
- サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度設定を使用するお湯の温度より10℃以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60℃にし、水と混ぜてご使用ください。

追いだきをする

おふろの温度を上げたいとき（追いだき）に使います。（おふろの量はかわりません。）
湯はりをするときに設定した温度になるまで追いだきを行います。（自動で停止）

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



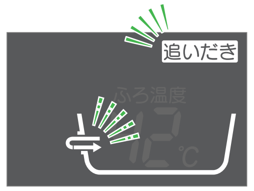
1 2

⚠警告
- 入浴するときは、浴槽の温度を指先等で確認する
- 追いだきをするときは、浴槽アダプターから離れる

（やけどの原因）

1 あつく（3秒押し） を3秒以上押す

▶追いだきが始まります。浴槽アダプターから熱いお湯が出ます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

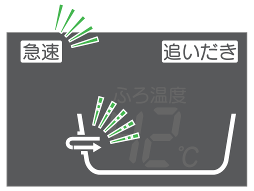


- 動作中は、あつくランプが点灯します。
- 途中でやめるときは、もう一度、あつくスイッチを押します。（あつくランプ、表示部の「追いだき」「⊂」が消灯します。）
- ［ ］:点灯、［ ］:点滅

〈すばやくあたためたいときは〉

2 追いだき中に 急速 を押す

▶急速追いだきが始まります。浴槽アダプターから熱いお湯が出ます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



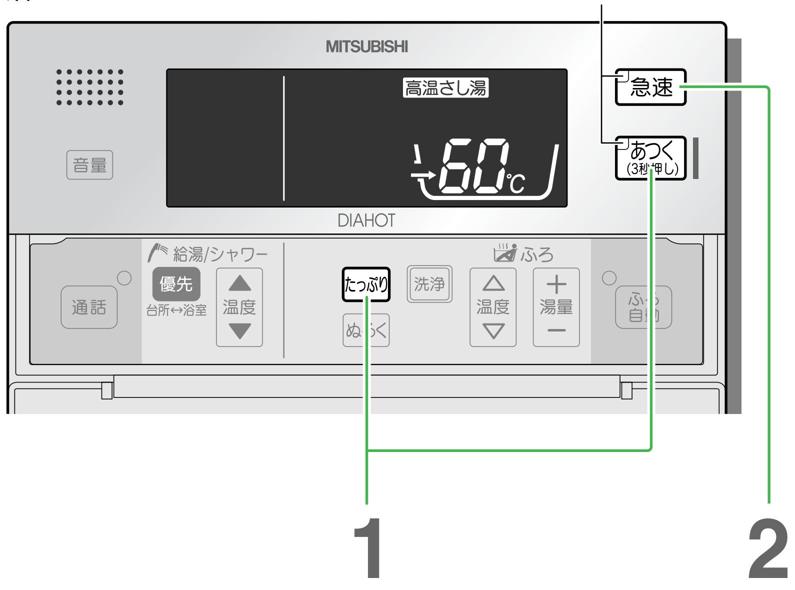
- 動作中は、急速ランプが点灯します。
- 急速追いだき中に、もう一度、急速スイッチを押すと、通常の追いだきに戻ります。
（急速ランプ、表示部の「急速」が消灯します。）

ポイント
- 追いだきはタンク内のお湯の熱を利用しています。そのため、使い方によっては、お湯が不足したり、追いだきができなくなることがありますので、わき上げモードを「おまかせ」または「多め」に設定してご使用いただくことをおすすめします。
- すでにおふろの温度が設定温度以上になっているときに押すと、現在のおふろの温度から約2℃上げるように（最高で48℃まで）追いだきを行います。
- リモコンに「残湯なし」が表示されているときは、タンク内に追いだき可能なお湯がないため、追いだきは使用できません。
- タンク内の湯温が低いと、追いだきが途中で停止（「残湯なし」表示）することがあります。
- 蛇口からおふろにお湯（水）をたした場合、追いだきできないことがあります。

熱いお湯をたす（高温さし湯）

湯はりをするときに設定した温度を、約2℃上げるために必要な熱いお湯が入ります。
（最大で約60L、自動で停止）

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



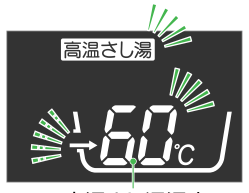
⚠ **警告**

- 高温さし湯をするときは、浴槽アダプターから離れる
- 浴槽にお湯がないときは、あつくスイッチを押さない

（やけどの原因）

1 たっぷり と あつく（3秒押し） を 同時に3秒以上押す

▶高温さし湯が始まります。浴槽アダプターから熱いお湯（約60℃）が出ます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



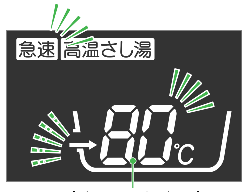
高温さし湯温度

- 動作中は、あつくランプが点灯します。
- 途中でやめるときは、もう一度、あつくスイッチを押します。（あつくランプ、表示部の「高温さし湯」「→」が消灯します。）
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

〈すばやくあたためたいときは〉

2 高温さし湯中に 急速 を押す

▶急速高温さし湯が始まります。浴槽アダプターから熱いお湯（約80℃）が出ます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



高温さし湯温度

- 動作中は、急速ランプが点灯します。
- もう一度、急速スイッチを押すと、通常の高温さし湯に戻ります。（急速ランプ、表示部の「急速」が消灯します。）

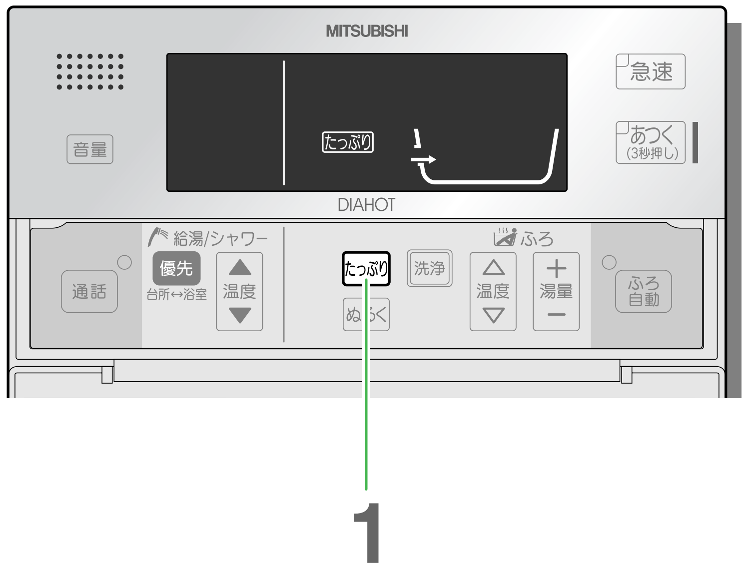
ポイント

- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合や浴槽の残り湯が浴槽アダプターより少ない場合は、高温さし湯は使用できません。
- **タンク内の温度が低いとき（特に、わき上げモードが「少なめ」の場合など）や配管などの条件によっては、設定より低い温度のお湯が出ることがあります。**
- 高温さし湯の湯量をいつでも多めに固定したい場合は、P36の手順で「50Lに固定する（たっぷり高温さし湯）」ことができます。
- シャワー等を使用しているときに高温さし湯を行うと、高温さし湯の温度が設定より低い温度になることがあります。
- 蛇口からおふろにお湯（水）をたした場合、高温さし湯ができないことがあります。

お湯をたす

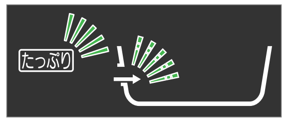
湯はりをするときに設定した温度のお湯（約20L）が浴槽に入ります。（自動で停止）

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 たっぷり を押す

▶浴槽アダプターからお湯が出ます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

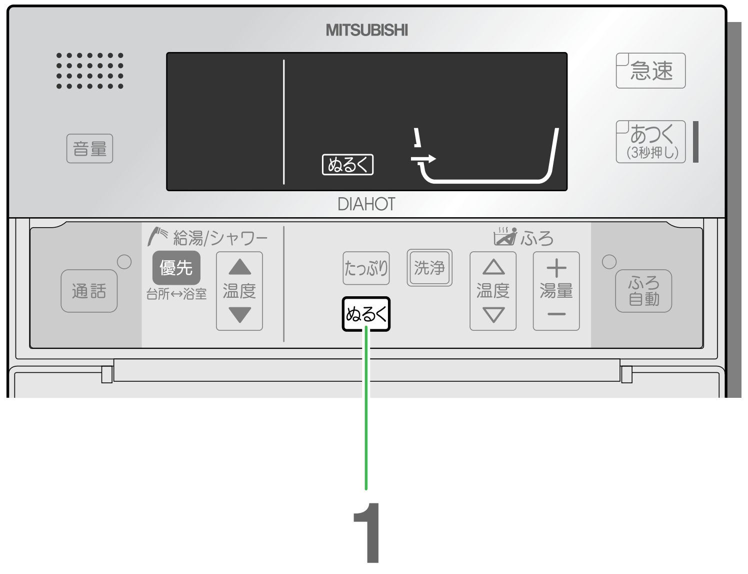


- リモコンに「残湯なし」が点灯している場合、たっぷりは使用できません。
- 途中でやめるときは、もう一度、たっぷりスイッチを押します。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

ぬるくする

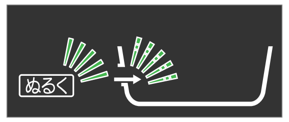
湯はりをするときに設定したおふろの温度を約1℃下げるために必要な水が浴槽に入ります。
（最大で約20L、自動で停止）

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 ぬるく を押す

▶浴槽アダプターから水が出ます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



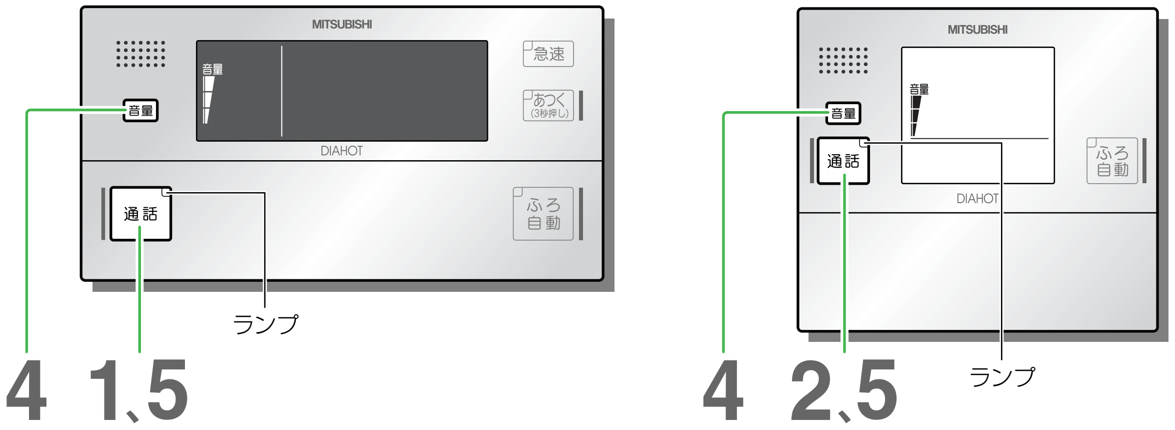
- 途中でやめるときは、もう一度、ぬるくスイッチを押します。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

ポイント
- ふろ自動運転中にぬるくスイッチを押した場合、約30分間自動保温を行いません。
  ただし、追いだき（19）は使用できます。

インターホンを使う

浴室リモコンと台所リモコンの間でインターホンとして会話ができます。
相手側はスイッチを押さなくても会話できます。

例）浴室から呼び出す場合（台所からも呼び出せます。）



1 浴室リモコンの 通話 を押す

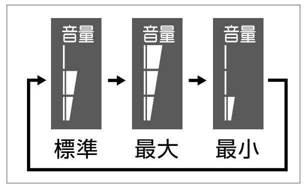
- 通話ランプが点滅します。
- 浴室リモコンは、浴室リモコンのフタを開けたまま、通話することもできます。

2 台所リモコンの呼出音が鳴り、ランプが点灯します。

- 浴室リモコンの呼出音も鳴ります。

3 音量ゲージが表示されたら、そのまま通話できます。

4 通話音量を変えるときは、通話中に 音量 を押す



押すごとに、音量がかわります。

- 通話中に行なってください。通話中以外に音量スイッチを押すと、音声ガイダンスの音量の変更となります。
- 通話音量は、台所リモコンと浴室リモコンでそれぞれ別々に設定できます。
- 工場出荷時は「標準」に設定されています。

5 通話をやめるときはどちらかの 通話 を押す

- 通話ランプが消灯します。音量ゲージも消灯します。
- 通話スイッチを押さなくても約60秒で自動的に終了します。

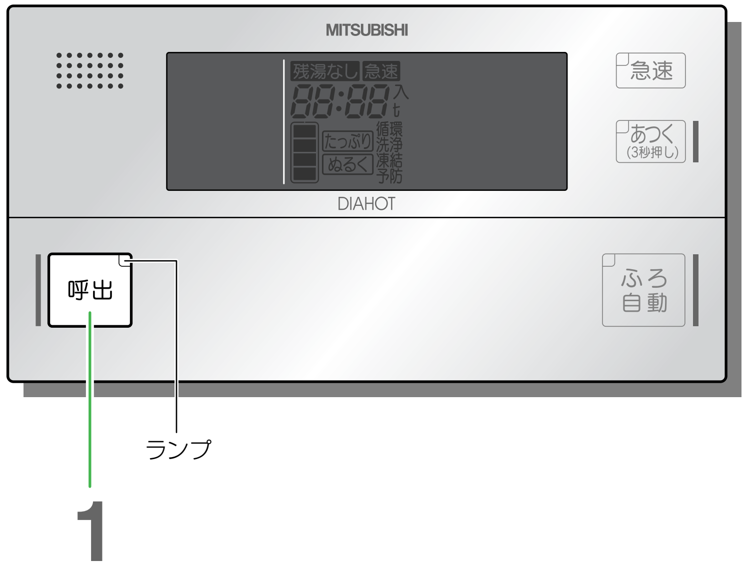
ポイント
- 通話するときは、リモコンに向かって約30cm程度の距離で話してください。
  （近すぎると相手側で聞き取りにくくなります。）
- 周囲の環境（ペットの鳴き声やテレビなどの雑音の大きい場所）や会話の仕方（声が小さいなど）によっては、通話が途切れる場合があります。テレビはボリュームを下げるか消音にして通話を行なってください。
- 一度に両方のリモコンで話すとうまく会話ができません。交互に会話してください。
- 通話中は、スイッチを押してもブザー音や音声ガイダンスは出ません。
- 通話スイッチを連続して押すと雑音が発生することがあります。
- 通話中にハウリング（スピーカーから「ピー」という音が出る）が起きた場合は、通話音量を下げてください。
- サブリモコン（オプション）には、インターホン機能はありません。（呼び出しもできません。）

ベーシックタイプ

呼び出しをする

呼出スイッチを押すと、台所リモコンで呼出音が約10秒間鳴ります。

浴室リモコン



1 呼出 を押す

▶呼出ランプが点灯します。

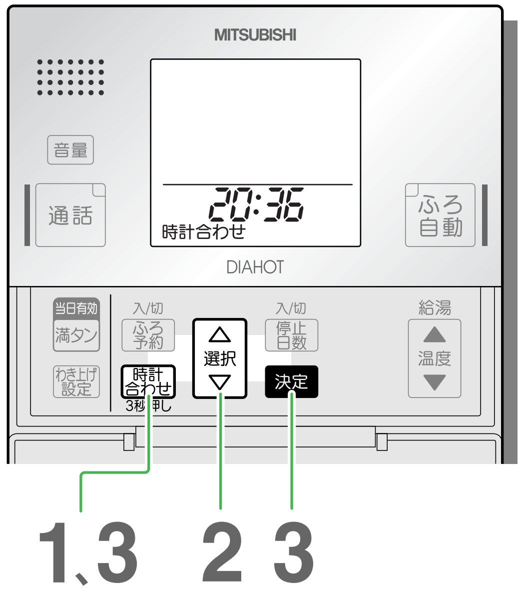
● ふたを開けたまま、呼び出すこともできます。

ポイント ● 途中で取り消しはできません。
● 呼出音量の調節はできません。

時刻を合わせる

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。
台所リモコンで設定します。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 時計合わせ を3秒以上押す

▶「時計合わせ」が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）午後8時35分

● 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
● 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
● [ ]:点灯、[ ]:点滅

2 選択スイッチを押して時刻を合わせる

▶ △ を押すと1分間進みます。
▽ を押すと1分間戻ります。
（押し続けると、連続してかわります。）

例）午後8時36分

● 表示部の時刻が点滅中に行なってください。

3 決定 または 時計合わせ を押す

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

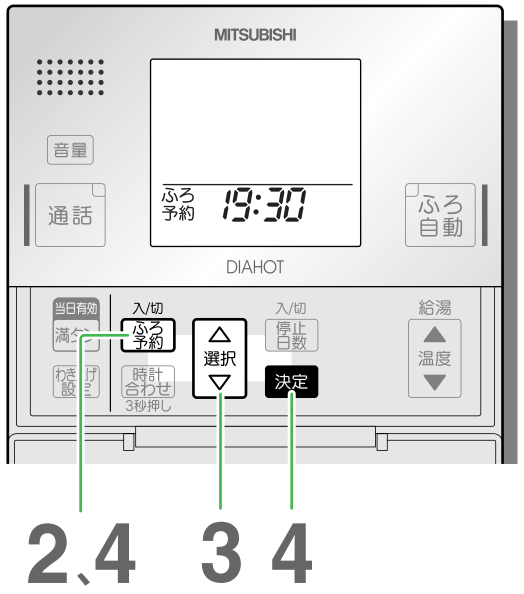
● 浴室リモコンには、自動的に設定した時刻が表示されます。

ポイント ● **時計の時刻は停電などにより若干変動します。**
● 表示部に「00:00」が点滅している場合は、わき上げできませんので、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。
● サブリモコンをご使用の場合、サブリモコンでは時刻を設定できません。台所リモコンで設定した時刻がサブリモコンに表示されます。

予約した時間におふろにお湯を入れる

台所リモコンで予約します。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



ポイント
- 当日の「ふろ自動予約」は、ふろ自動予約時刻の1時間以上前に設定してください。1時間以内に設定した場合は設定した時刻に湯はりが完了しない場合があります。
- 水源水圧の変動などにより、湯はり完了時間が設定した時間よりずれることがあります。
- 「ふろ自動予約」は、浴室リモコンでは設定できません。
- 「ふろ自動予約」は、湯はりが終わると自動的に解除されますので、使用するごとに予約をしてください。
- 湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、予約した時刻に湯はりが完了しない場合があります。
- 現在時刻が合っていないと、予約した時刻に湯はりは完了しません。

1 浴槽を確認する

①残った水を排水して、おふろの栓を閉じる
②浴槽にふたをする

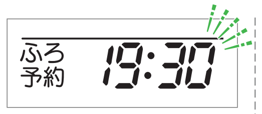
- 浴槽に残水があると、水位や温度、時刻がばらつくことがあります。必ず、浴槽を確認してください。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

2 入/切 ふろ予約 を押す

▶「ふろ予約」が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- 時刻は24時間表示です。
- 工場出荷時 は、18:00に設定されています。
- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。

3 時刻が点滅中に選択スイッチを押して 予約時刻を設定する



例）午後7時30分

▶ △ を押すと10分間進みます。
▽ を押すと10分間戻ります。
（押し続けると、連続してかわります。）

- ふろ自動予約時刻の設定は10分刻みです。

4 決定 または 入/切 ふろ予約 を押す

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

- 解除するときは、もう一度、ふろ予約スイッチを押します。「ふろ予約」表示が消え、現在時刻表示になります。

5 予約した時刻になると湯はりが完了し、表示が現在時刻に変わります。

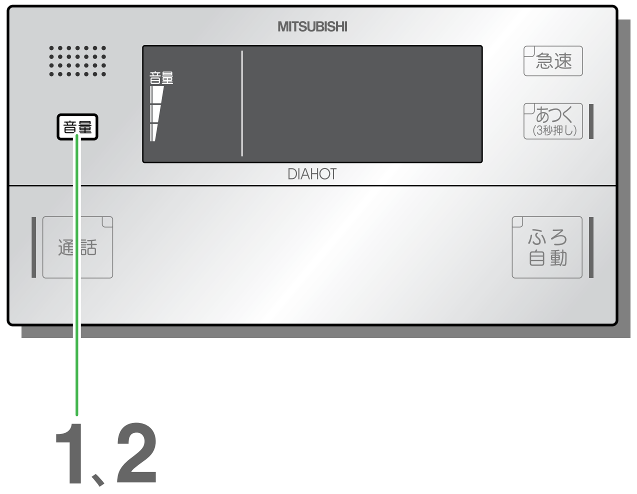
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

インターホンタイプ

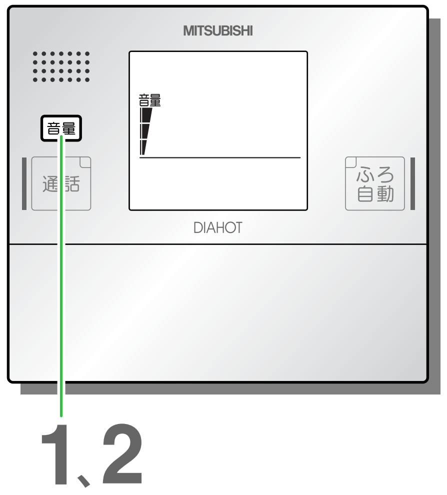
音声ガイダンスの音量を調節する

台所、浴室リモコンの音声ガイダンス（操作を音声でガイドする機能）の音量を変えたり、切ることができます。音量は、台所リモコンと浴室リモコンでそれぞれ別々に調節できます。

浴室リモコン



台所リモコン



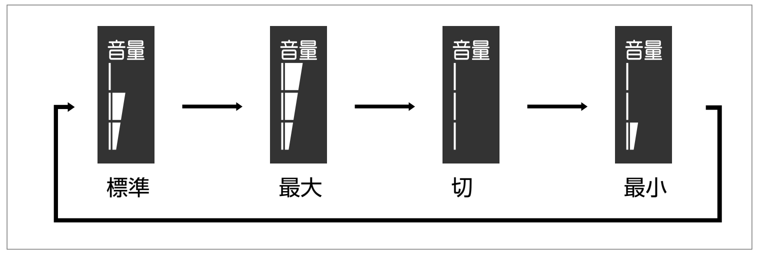
1 音量 を押す

▶現在設定されている声の大きさをお知らせします。
（音声ガイダンス）

- 通話をしていないときに行なってください。通話中に音量スイッチを押すと、通話音量の変更となります。
- 工場出荷時は「標準」に設定されています。

2 音量確認（手順1）後、10秒以内に 音量 を押す

▶押すごとに、声の大きさをお知らせします。

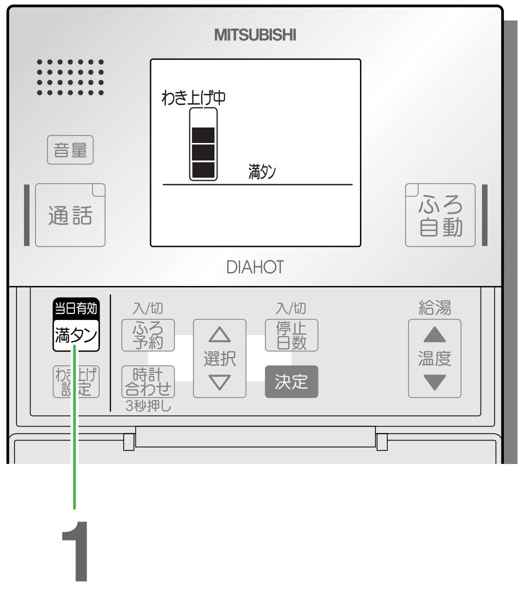


- 切（「音声を切ります」）にしても、音量調節を知らせる音声やスイッチ操作音、警告音は消せません。

たくさんお湯を使う（わき増し）

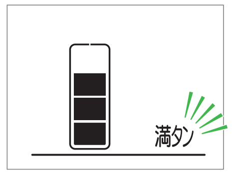
お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。
来客などでたくさんのお湯が必要なときに設定してください。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 当日有効 満タン **を押す**

▶「満タン」が表示されます。
▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



- 解除するときは、もう一度、満タンスイッチを押します。（満タン表示が消えます。）
- [ ]:点灯

2 **お湯が約50L減るとわき増しを開始します。**

▶わき増し中は、「わき上げ中」が表示されます。

ポイント
- 満タンわき増しは、一度設定すると、設定したその日は解除されるまで何回でもタンク全体のわき増しを行います。夜間時間帯[注]になると自動的に解除されます。
  注.夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。
- わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げますので電気料金は割高になります。

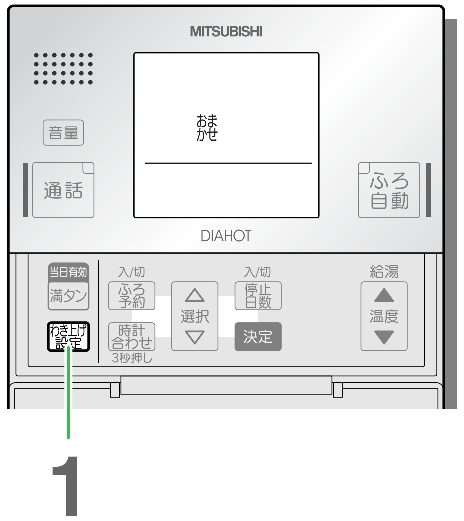
わき上げモードを設定する

給湯機のわき上げ動作を決めるためのモードです。
使い始めは「おまかせ」にすることをおすすめします。

わき上げモード	動作内容	注意点
おまかせ	■おすすめ省エネモード 季節や過去の使用湯量を学習し、最適なお湯の量を自動でわかします。	●タンク全量をわき上げないことがあります。 （学習によりわき上げ量を調整するためです。）
多め	■「おまかせ」ではお湯がたりないときに設定するモード 季節や過去の使用湯量を学習し、「おまかせ」より多めにお湯をわかします。	●お湯を多めにわかしますので、省エネには「おまかせ」がおすすめです。
少なめ	■お湯の使用量が少ないときに設定するモード 季節や過去の使用湯量から最小限のわき上げを行います。	●タンク全量をわき上げないことがあります。 （学習によりわき上げ量を調整するためです。）

注1.夜だけわかしたいときは「深夜のみ」にも設定できます。「深夜のみ」でご使用の場合、お湯が少なくなっても昼間時間帯の自動わき上げを行いません。
注2.「おまかせ」「多め」「少なめ」を設定中は、お湯が少なくなると昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。ただし、いつもより多めにお湯を使用した場合、昼間わき上げをしてもお湯が足りなくなることがあります。
注3.どのモードを設定しても、お湯の使い方によっては、追いだき・自動保温・高温さし湯・給湯温度設定等の各機能に制限が発生することがあります。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



学習機能付き
季節や過去1週間の使用湯量を計算し、ムダなお湯を作らないよう、効率的にわき上げを行います。

※いつもより多めにお湯を使用した場合、昼間わき上げをしてもお湯が足りなくなることがあります。その場合は満タンわき増しをご利用ください。（P.28）

1 わき上げ設定 **を押す**

▶押すごとに、わき上げモードが移動します。

おまかせ ― 少なめ ― 深夜のみ ― 多め

- 工場出荷時は、「おまかせ」に設定されています。
- [ ]:点灯

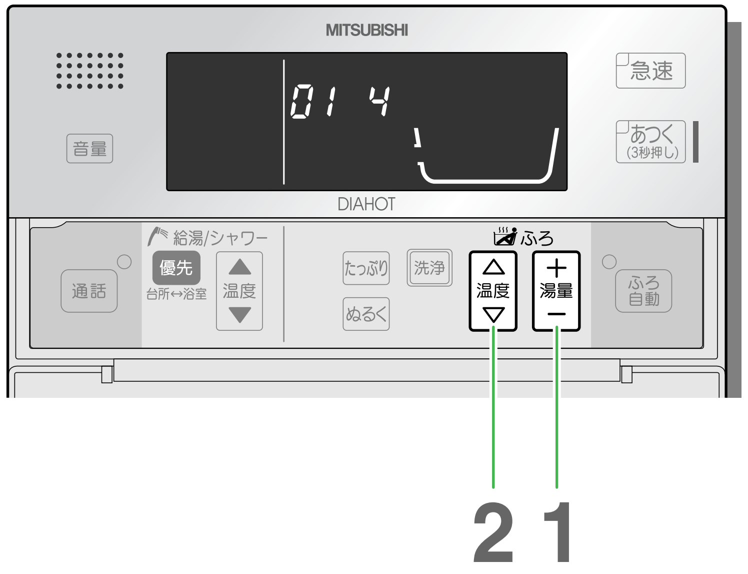
ポイント
- **「深夜のみ」で使用して湯切れする場合は「おまかせ」「多め」で使用してください。**
- 「深夜のみ」を設定していても、外気温度が低い時は、凍結防止のため、昼間でもヒートポンプユニットが動作することがあります。
- 万一、湯切れした場合は、満タンわき増し（P.28）をご利用ください。

〈スマート機能〈機能番号:01〉〉

ふろ自動運転の継続時間を変更する

ふろ自動継続時間を「0～8」時間の間で変更することができます。
自動保温、自動たし湯を行なわないようにするときは、「0」時間を設定してください。

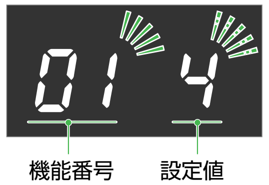
浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 湯量 － を3秒以上押す

▶機能番号（01）と現在の設定値が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）4時間



- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- 工場出荷時は「4時間」に設定されています。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

2 ふろ温度スイッチを押して継続時間を変更する

▶△ を押すと1時間長くなります。
▽ を押すと1時間短くなります。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

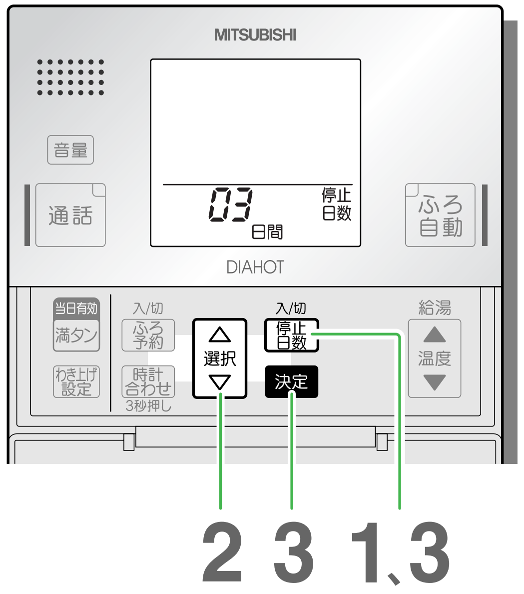
例）2時間

- 通常表示（時刻表示）へ戻すときは、[ ]スイッチを押します。
[ ]スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

数日間わき上げを停止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだ給湯機のわき上げを停止させ、電気代を節約することができます。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



わき上げ停止日数の決めかた

例）10月1日に出発し、10月4日に帰宅する
3泊4日の旅行の場合

- 出発日（1日）に設定する場合は、停止日数「03」を設定します。
1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。
帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

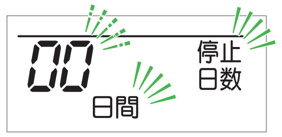
日付	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日
昼間のお湯の使用	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用する

- 出発日の前日に設定する場合は、停止日数「04」を設定します。
帰宅日には、朝からお湯が使用できますが、出発日にはお湯を使用できません。

〈予定日より早く帰宅した場合〉
まずは停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。その日にお湯を使用するときは、満タンわき増しを使用してください。

1 入/切 停止日数 を押す

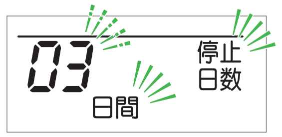
▶メニューに「停止日数」が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）



- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

2 選択スイッチを押して停止日数を合わせる

▶△ を押すと日数が進みます。
▽ を押すと日数が戻ります。
（押し続けると、連続してかわります。）



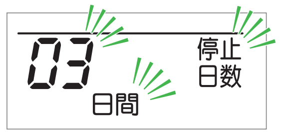
- 設定範囲は、「2～15日」、「長期停止」です。

表示	停止日数
長期停止	長期停止
15日間	15日
∫	
02日間	2日
00日間	解除

- 長期停止を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。
- 解除するときは、もう一度、停止日数スイッチを押します。

3 決定 または 入/切 停止日数 を押す

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

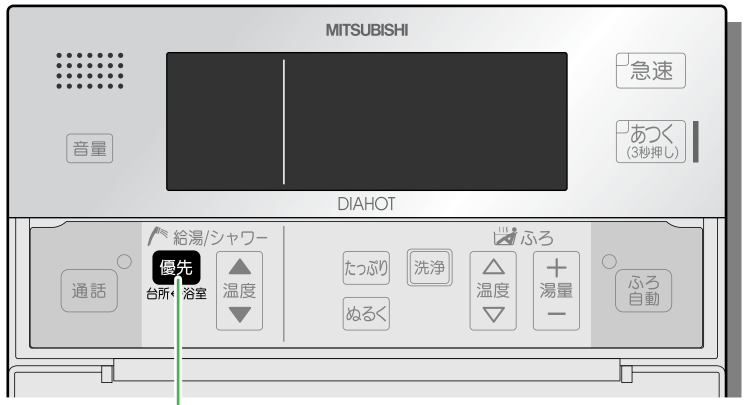


ポイント
- 運転停止中でも配管凍結予防のため、ヒートポンプユニットの運転を行うことがあります。
- 停止期間中に、ふろ自動予約、満タンわき増し、現在時刻の設定を行うと自動解除されます。
- **長期間（1カ月以上）使用しないときは、 P.44 の手順に従って貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットの水抜きをしてください。**

自動消灯モード

浴室リモコン画面のバックライトを、節電のため消灯させることができます。(自動消灯モード)
自動消灯モード設定時は給湯機を使用しないまま約10分間経過後、バックライトが消灯します。

浴室リモコン (インターホンタイプで説明しています。)



1

1 優先 を3秒以上押す

▶浴室リモコンのバックライトが消灯し、自動消灯モードになります。
(音声ガイダンス:インターホンタイプのみ)

● 常時点灯モードに戻すときは、優先スイッチを3秒以上押します。

ポイント ● 自動消灯モード中でも、以下の場合はバックライトが点灯します。

- お湯を使用したとき ● ふろ機能使用中 ● 音声ガイダンスが流れたとき ● いずれかのスイッチ操作をしたとき
- インターホン動作中

残湯量表示

タンク内の残湯量(45℃以上のお湯の量)をリモコンに表示します。
お湯が少なくなったときは、各リモコンに「残湯なし」が表示されますので、満タンわき増しを使用してください。

残湯量表示 台所リモコンで説明しています。						残湯なし(点滅)	残湯なし(点灯)	残湯なし(点灯)	
お湯の量	550L機種	500L以上 (ほぼ満タン)	330L以上 500L未満	150L以上 330L未満	50L以上 150L未満	50L未満	残湯なし (湯切れ)	50L未満	50L以上 150L未満
	460L機種	410L以上 (ほぼ満タン)	270L以上 410L未満	150L以上 270L未満					
	430L機種(薄型)	390L以上 (ほぼ満タン)	250L以上 390L未満	150L以上 250L未満					
	370L機種(薄型)	330L以上 (ほぼ満タン)	250L以上 330L未満	150L以上 250L未満					
	370L機種	320L以上 (ほぼ満タン)	240L以上 320L未満	150L以上 240L未満					
	300L機種	250L以上 (ほぼ満タン)	200L以上 250L未満	150L以上 200L未満					
お湯の増減									
ふろ機能の制約	ふろ自動	使用できます(※)					使用できません		使用できます(※)
	追いだき								
	高温さし湯								
	たっぷり								
	ぬるく	使用できます							

※使用状況によっては湯量がたりなくなり、機能が満足できない場合があります。

ポイント
- 残湯量表示の「■」は45℃以上のお湯を表しています。
- **自然放熱や追いだき・自動保温などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。**
- **追いだきや自動保温はタンク内のお湯の熱を利用しています。そのため使い方によってはお湯が不足したり、追いだきや自動保温ができなく(「残湯なし」点灯)なることがあります。**
- 設置直後など、1度もわき上げが完了していない場合は、お湯の増加とともに以下のように表示がかわります。「残湯なし」の表示方法(点灯/点滅)は、上表と異なります。

残湯量表示	残湯なし(点滅)	残湯なし(点滅)				
お湯の量	残湯なし	50L未満	50L以上 150L未満	150L以上 270L未満	270L以上 410L未満	410L以上 (ほぼ満タン)

※460L機種の場合

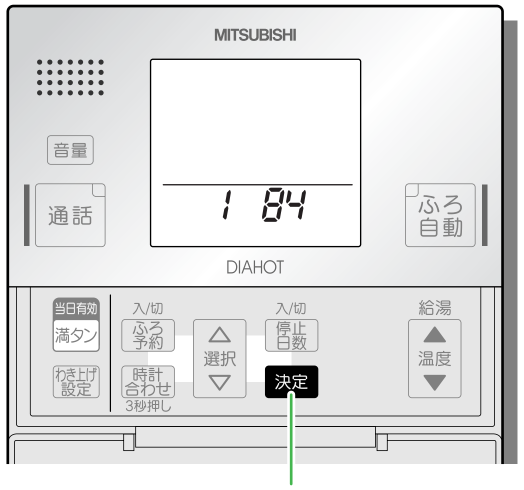
ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

〈スマート機能〈機能番号:1〉〉

タンク内温度を表示する

現在のタンク内温度を表示させることができます。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

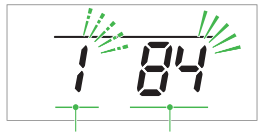


1

1 決定 を3秒以上押す

▶機能番号（1）とタンク内の温度が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）84℃



● [ ]:点灯、[ ]:点滅

● 通常表示（時刻表示）へ戻すときは、決定スイッチを押します。
決定スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

ポイント
- わき上げ温度はヒートポンプユニットでわき上げるお湯の温度です。途中の配管の放熱などにより、タンクにたまるお湯の温度は、わき上げ温度よりも低くなります。（ヒートポンプ配管が断熱材20mm、外気温度マイナス7℃、15m配管の場合、配管での放熱ロスによる温度低下は約5℃です。外気温度、湿度等の条件、各部の放熱ロスを含めると、この条件でタンクに貯まるお湯の温度は、わき上げ温度よりも約10℃低下することがあります。）
- タンク内の湯温は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、わき上げ温度よりも低く表示されることがあります。（通常、温度の低下は、1時間に約1℃ですが、外気温度によってはそれ以上低下することがあります。）
- わき上げ中やお湯を使用したとき（給湯、追いだき、高温さし湯、自動保温など）は、タンク内の湯温表示が変動することがあります。

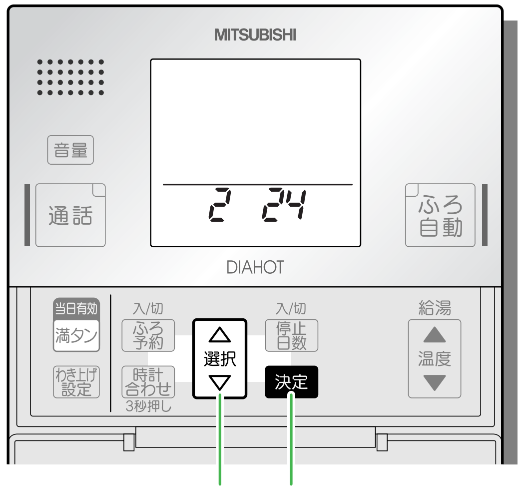
〈スマート機能〈機能番号:2・3・4〉〉

お湯の使用量を表示する

昨日の給湯使用量※、昨日の追いだき・保温使用量※、過去1週間の1日あたりの平均使用量※を表示させることができます。

※お湯の使用量（エネルギー）を43℃の給湯量で表示し、毎朝、夜間時間帯終了後に更新を行います。追いだきはタンク内のお湯の熱を利用するため、実際に蛇口等でお湯を使っていなくても、使用量は多くなります。

台所リモコン（インターホンタイプで説明しています。）

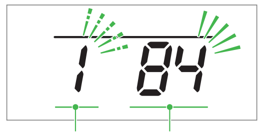


2 1

1 決定 を3秒以上押す

▶機能番号（1）とタンク内の温度が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）84℃



● [ ]:点灯、[ ]:点滅

● 通常表示（時刻表示）へ戻すときは、決定スイッチを押します。
決定スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

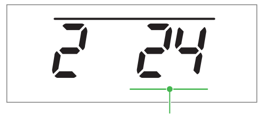
2 選択スイッチ △ を押す

▶機能番号（2）給湯使用量が表示されます。

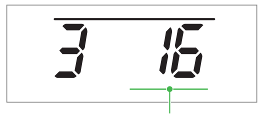
▶ △ を押すと機能番号が進みます。
▽ を押すと機能番号が戻ります。

（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

例）昨日の給湯使用量 240L



例）昨日の追いだき・保温使用量 160L



例）過去1週間の平均使用量 500L

● 表示された数字に10をかけた数値が使用量（L）の目安です。

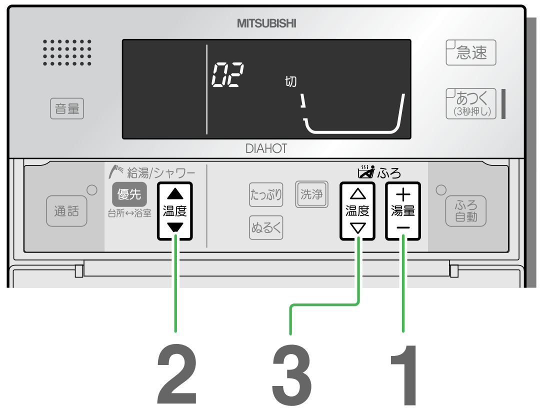
● 表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「24（240L）」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて240L使用したことを表しています。

〈スマート機能〈機能番号:02〉〉

高温さし湯の量を切り替える

「高温さし湯量」は以下のように設定を変更できます。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



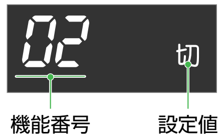
●設定できる範囲

入:約50Lのお湯が出ます。 切:浴槽温度を約2℃上げるためのお湯が出ます。
工場出荷時は「切」

1 湯量 ― を3秒以上押す

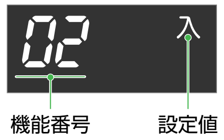
▶機能番号（01）と現在の設定値が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

2 給湯温度スイッチ ▲ を1回押す



▶機能番号（02）と現在の設定値が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）
▶△を押すと機能番号が進みます。
▽を押すと機能番号が戻ります。

3 ふろ温度スイッチを押してモードを決める



▶△を押すと入になります。
▽を押すと切になります。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

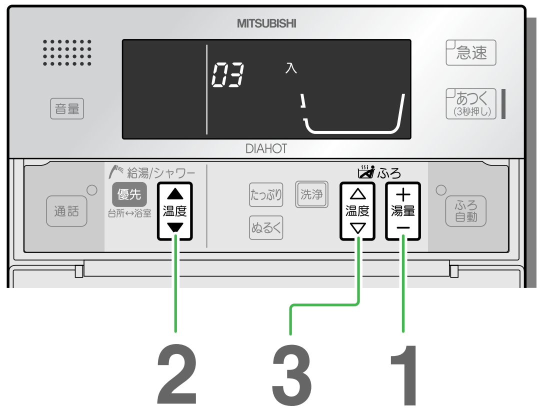
●通常表示（時刻表示）へ戻すときは、― スイッチを押します。
― スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

〈スマート機能〈機能番号:03〉〉

凍結予防運転を入/切する

ふろ配管の「凍結予防運転」は以下のように入／切できます。通常は「入」でご使用ください。42

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



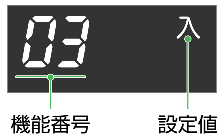
●設定できる範囲

入:凍結予防運転あり 切:凍結予防運転なし
工場出荷時は「入」

1 湯量 ― を3秒以上押す

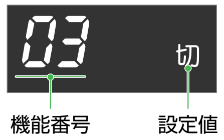
▶機能番号（01）と現在の設定値が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

2 給湯温度スイッチ ▲ を2回押す



▶機能番号（03）と現在の設定値が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）
▶△を押すと機能番号が進みます。
▽を押すと機能番号が戻ります。

3 ふろ温度スイッチを押してモードを決める



▶△を押すと入になります。
▽を押すと切になります。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

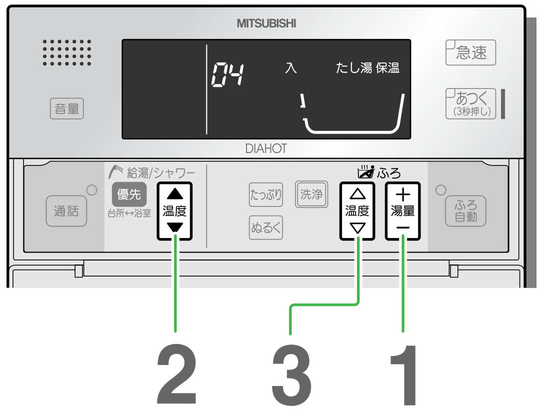
●通常表示（時刻表示）へ戻すときは、― スイッチを押します。
― スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

〈スマート機能〈機能番号:04〉〉

自動たし湯を入/切する

「自動たし湯」は以下のように入／切できます。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



●設定できる範囲

入:自動たし湯あり 切:自動たし湯なし
工場出荷時は「入」

1 湯量 ― を3秒以上押す

▶機能番号（01）と現在の設定値が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

2 給湯温度スイッチ ▲ を3回押す

▶機能番号（04）と現在の設定値が表示されます。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）
▶△を押すと機能番号が進みます。
▽を押すと機能番号が戻ります。

3 ふろ温度スイッチを押してモードを決める

▶△を押すと入になります。
▽を押すと切になります。

▶設定完了です。
（音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

●通常表示（時刻表示）へ戻すときは、― スイッチを押します。
― スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

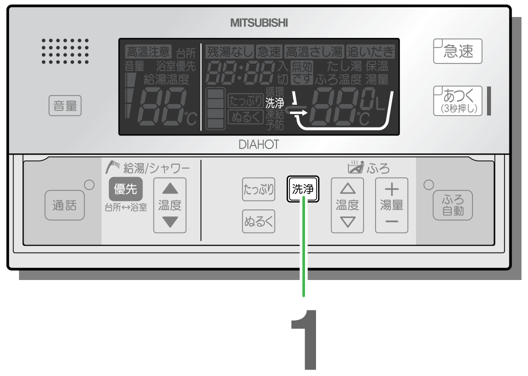
洗浄

洗浄には配管にたまった水を押し出す「注水洗浄」と、洗浄剤を使って配管内をきれいにする「循環洗浄」があります。

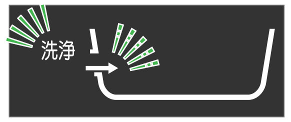
注水洗浄

おふろの排水時に、毎回行うことをおすすめします。

浴室リモコン（インターホンタイプで説明しています。）



1 洗浄 を押す



●［ ］:点灯、［ ］:点滅

▶浴槽アダプターから約8Lの水が出ます。（自動で停止）

（ 音声ガイダンス:インターホンタイプのみ）

循環洗浄

1年に2〜3回、または汚れが目立つ場合に行なってください。

1.洗浄

①入浴後、ふろ自動運転を「切」にし、お湯を排水せずに浴槽のお湯を残しておく（お湯の目安は浴槽アダプターの中心から約10cm以上です。）

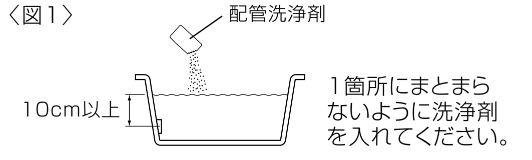
②配管洗浄剤を1袋入れる〈図1〉

③洗浄スイッチを3秒以上押す〈図2〉

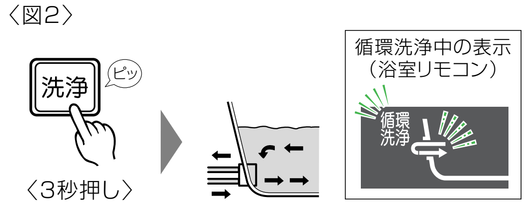
- 自動でふろ配管を洗浄します。
洗浄中は、浴室リモコンに「循環洗浄」表示が出ます。
- 洗浄時間の目安は、約1時間です。洗浄スイッチを押して、洗浄を停止させてください。（洗浄スイッチを押さなくても、約6時間で自動停止します。）
浴槽アダプターから水が約8L出ます。（自動で停止）
- 汚れの落ち具合により、洗浄時間を調節してください。

④洗浄が終わったら、浴槽のお湯を排水する

〈図1〉



〈図2〉



2.すすぎ

①おふろの栓を閉じる〈図3〉

②浴室リモコンのふろ温度▽スイッチとふろ自動スイッチを同時に押す〈図4〉

- 水による湯はりが始まります。

③浴槽アダプターが隠れる程度お湯がはれたら、ふろ自動スイッチを押す〈図5〉

- 湯はりが止まります。

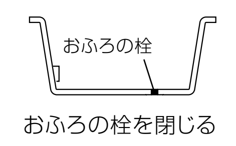
④洗浄スイッチを3秒以上押す〈図6〉

- すすぎが始まります。すすぎ時間の目安は、約30分です。洗浄スイッチを押して洗浄を停止させてください。（洗浄スイッチを押さなくても、約6時間で自動停止します。）
浴槽アダプターから水が約8L出ます。（自動で停止）

⑤すすぎが終わったら、浴槽のお湯を排水する

⑥浴槽の掃除を行う

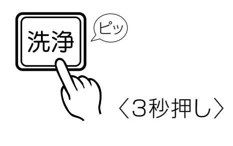
〈図3〉



〈図4〉

〈図5〉

〈図6〉



ポイント

- 洗浄剤は、別売の配管洗浄剤（BJ-070K）をご使用ください。市販の洗浄剤を使用する場合は「ジョンソン株式会社製ジャバ（1つ穴用）」に限ります。（ジャバを使用する場合も循環洗浄の手順は上記の通りに行なってください。安全に関するご注意などは、ジャバに付属の説明書をお読みください。）
- 循環洗浄を行なっても汚れが落ちない場合は、もう一度循環洗浄を行なってください。
- 蛇口からおふろにお湯（水）を入れた場合、循環洗浄ができないことがあります。

サブリモコンをご使用の場合

サブリモコン（オプション）

※インターホン機能はありません。

フタを開けた状態です。

形名:RMC-KZ3（アールエムシー ケーゼット）

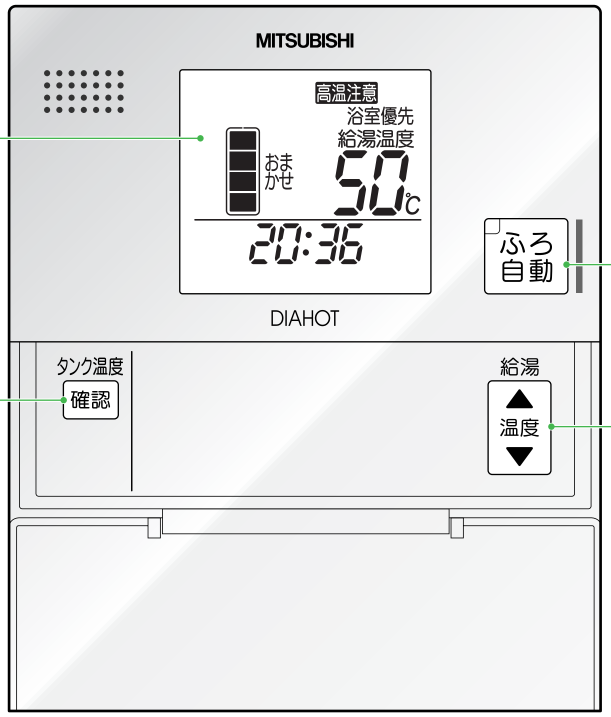
バックライト付き

※約1分間以上、スイッチ操作や音声ガイダンスがない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。（バックライト自動消灯機能）

タンク内の温度を表示できます。

タンク内湯温表示

例）84℃

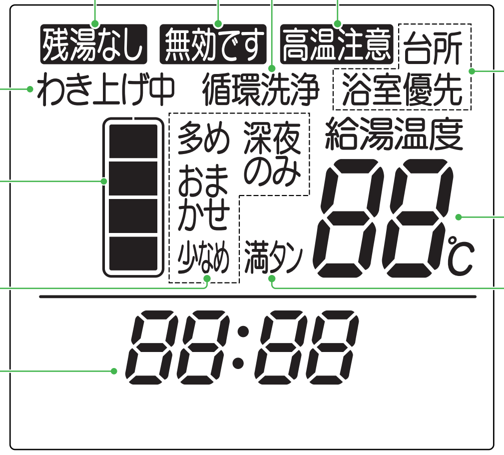


おふろにお湯をはれます。 P.14

蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P.18

表示部

（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）



操作が無効のときに点滅

タンク内のお湯が少なくなると点滅または点灯

わき上げ時に点灯

残湯量（お湯の量）を表示

わき上げモードを表示

現在時刻を表示

循環洗浄中に表示

高温（50℃、60℃）の給湯温度設定時に点灯

給湯温度を変更できるリモコンを表示

給湯温度などを表示

満タンわき増し設定時に点灯

お手入れと点検

日常のお手入れ

❑浴槽アダプターのお手入れ

浴槽のお湯を排水した後に行います。お手入れは、こまめに行なってください。追いだき等の動作が正常に行えない場合があります。

①浴槽アダプターフィルターを外し、全体を水洗いする
　歯ブラシなどを使用すると、細部の汚れがおちます。

②元どおりに取付ける（図の向きに「カチッ」と音がするまで回す）
　取付けがゆるいと、運転中に外れ、故障の原因になります。

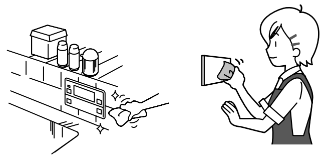
ポイント
- 浴槽アダプターの角部や突起で手、指などにけがをしないようにしてください。
- 浴槽アダプターフィルターの上下を確認して取り付けてください。

❑時刻の確認

時刻がずれていると電気料金が高くなってしまいますので、1カ月に1回程度確認を行なってください。ずれている場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。（P25）

❑リモコンのお手入れ

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。



ポイント
- ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。
変形や変色の原因になります。

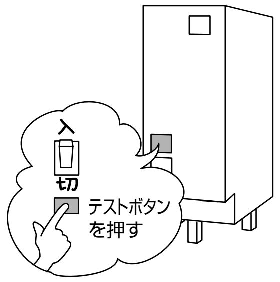
1年に2～3回程度のお手入れと点検

❑漏電遮断器の動作点検

漏電遮断器の点検は、電源供給中に行なってください。

①操作カバーを開け、テストボタンを押す
　電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。

②必ず電源レバーを上げ、「入」に戻す



⚠警告	漏電遮断器の動作を確認する（感電の原因）

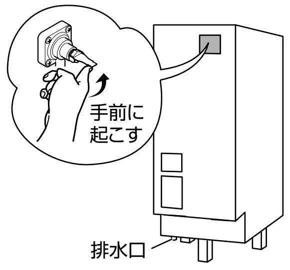
ポイント
- 電源レバーが「切」にならない場合は、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑逃し弁の点検

動作点検と水漏れ点検を行います。

〈動作点検〉　逃し弁操作窓を開けて逃し弁のレバーを手前に起こし、排水口から水（お湯）が出ることを確認します。水（お湯）が出れば正常です。
点検後はレバーを戻してください。

〈水漏れ点検〉　わき上げをしていないとき（台所リモコンに「わき上げ中」が表示されていないとき）、排水口から水（お湯）が出ていないかを確認します。水（お湯）が出ていなければ正常です。水（お湯）が出ている場合は、逃し弁のレバーを数回動かしてください。
点検後はレバーを戻してください。



⚠警告	点検時は、配管に手を触れない（やけどの原因）

⚠注意	逃し弁の点検をする タンクや配管が破裂してやけどの原因になります。

ポイント
- 逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。（点検時は、転倒しないよう注意してください。）
- 動作点検、水漏れ点検を行って正常ではない場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店（販売店）にご連絡ください。特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行なってください。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

⚠注意	配管を点検する マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

ポイント
- 本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑洗浄剤を使ってふろ配管をきれいにする（循環洗浄）

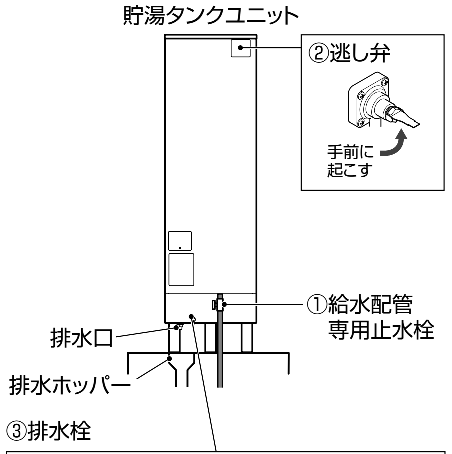
浴槽内の汚れが目立つ場合は、洗浄剤を使って循環洗浄を行なってください。（P38）

❑貯湯タンクのお手入れ

①給水配管専用止水栓を閉じる
②逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こす
③排水栓を約1～2分間開く

タンクの下部にたまった汚れを排水します。
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

④1～2分たったら、排水栓を閉じる
⑤給水配管専用止水栓を開く
⑥排水口から勢いよく水が出たら、逃し弁のレバーを戻す

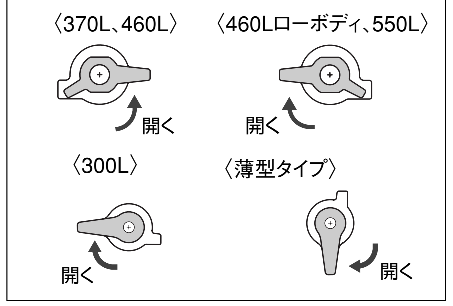


⚠警告	排水時はお湯に手を触れない（やけどの原因）

ポイント
- **給水配管専用止水栓の取付位置が不明な場合は、据付工事店へご連絡ください。**
- わき上げ中（台所リモコンに「わき上げ中」が表示されているとき）は行わないでください。
- タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管（溝）のゴミつまりなども点検してください。ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため据付工事店（販売店）へご連絡ください。（有償）

わき上げ中の表示

※機種により排水栓の形状、取付位置、操作方向が異なります。



凍結防止

寒い季節になったら、凍結防止処置（凍結防止ヒーターのプラグを入れる、凍結予防運転を設定する）が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損したり、リモコンにエラーが表示されたりすることがあります。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）据付工事店（販売店）へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。

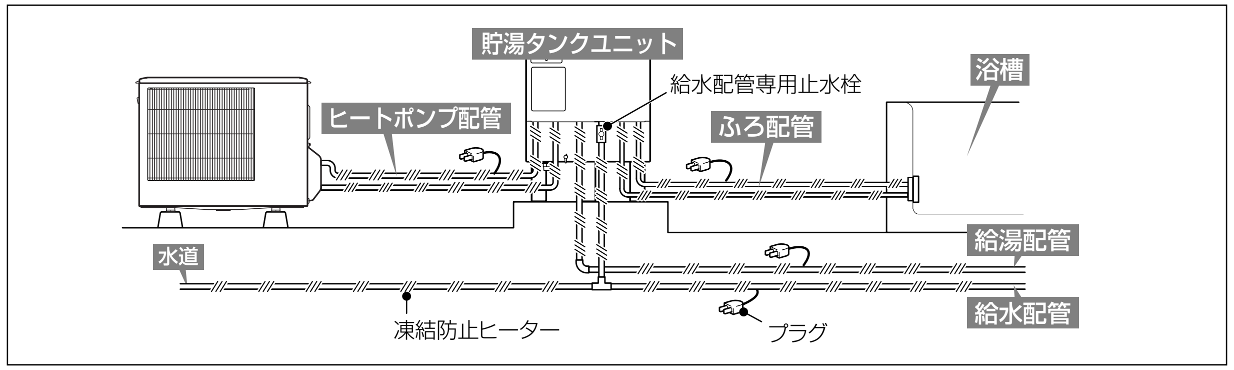
⚠注意

- **凍結防止処置の確認をする**
  凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

ポイント
- 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの凍結防止のため、ヒートポンプユニットを動作させて凍結防止運転を行います。（運転停止日数が設定されている場合やわき上げモードが「深夜のみ」に設定されている場合でも、凍結防止のため動作することがあります。）

❑凍結防止ヒーター（推奨品）を使う

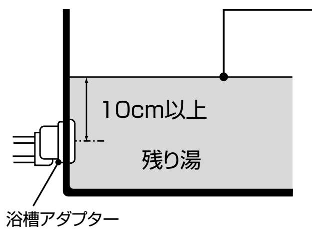
凍結防止ヒーターが図のように設置されているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。



ポイント
- 配管が凍結した場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑凍結予防運転（浴槽の残り湯循環）

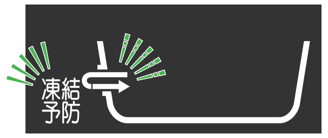
入浴後、排水せずにおふろのお湯を残しておくと自動で残り湯を断続的に循環して凍結予防を行います。凍結するおそれのある場合は、必ず、凍結防止ヒーターでの凍結防止も行なってください。



1 **入浴後、排水せず浴槽の湯を残しておく**
お湯の目安は浴槽アダプターの中心から約10cm以上です。

2 **ヒートポンプユニットの温度センサーが約3℃以下を検知すると凍結防止のため、ふろ配管に残り湯を循環させます。（保温運転はしません。）**

運転中の表示（浴室リモコン）



[ ]:点灯、[ ]:点滅

ポイント
- 凍結予防運転はふろ自動運転が「切」のときに作動します。
- 外部の配管を含めて循環させているため、動作中は冷たい水が出ることがあります。
- ふろ自動運転「切」後、動作音がしたり、浴槽アダプターから水が出たりします。凍結予防運転が動作していますので、夜間に残り湯を排水せず、おふろの湯を残してください。
- 「残り湯循環」を行なった次の日は、残り湯を排水してから、湯はりを行なってください。
- 凍結予防運転を行なわないように設定することができます。（☞36）
  ただし、凍結するおそれがありますのでご注意ください。
- 蛇口からおふろにお湯（水）を入れた場合、凍結予防運転ができないことがあります。

停電・断水時（水が濁る）など

❑停電したとき

この給湯機はメモリ機能がついていますのでお客さまが設定した「時刻」や「わき上げモード」などは記憶されています。**ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。**

- **停電終了後、リモコンの設定は、停電前の設定に戻ります。**
- **わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。**

ポイント
- 正確な時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。
- 湯はり中の停電

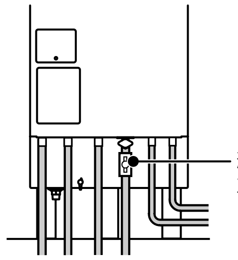
停電時間20分以内	自動的に湯はりを再開します。
停電時間20分を越えたとき	浴槽の湯を全部抜いてから、再度、ふろ自動運転スイッチを押して湯はりを行なってください。

❑断水したとき（水が濁る）

①断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓を閉じてください。（閉じると給湯機からのお湯が止まります。）閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯タンクユニットのストレーナー部が目詰まりし、出湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

②断水時は蛇口の混合栓を水側にして、蛇口は開けないでください。

③工事が終了したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。



❑給湯を止めるとき

湯水混合栓のパッキンの交換などで、給湯機からの給湯を止めるときは、水道の元栓と給水配管専用止水栓を閉じてください。

ポイント
- パッキン交換などの作業を行う場合、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから作業を行なってください。

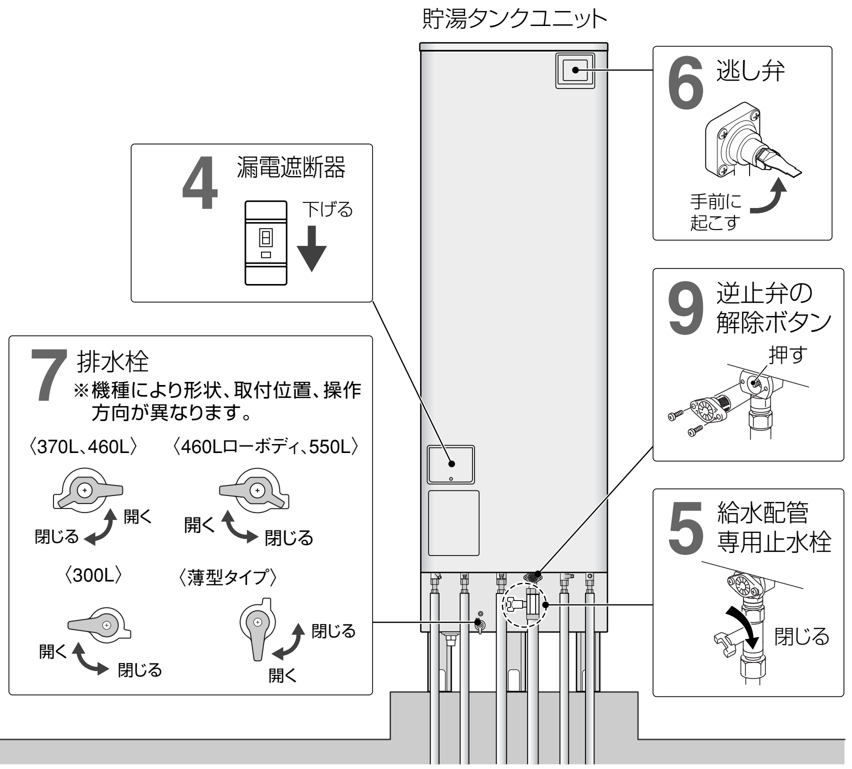
ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

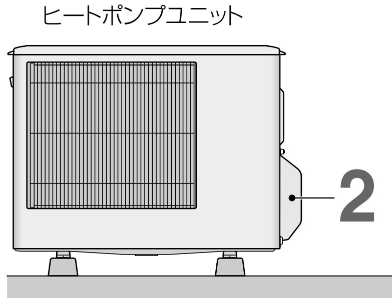
長期間使用しない

長期間（1カ月以上）使用しないときは、運転を止め貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットの水を抜きます。また、凍結による不具合防止のため、給湯機の通電を行なわないときは、下記要領で水抜きを行なってください。水抜きを行わないと凍結により機器が破損することがあります。

⚠警告
排水時は、やけどに注意する

⚠注意
- 長期間（1カ月以上）使用しないときは、タンクの水を抜く
- タンクの熱湯を直接排水しない



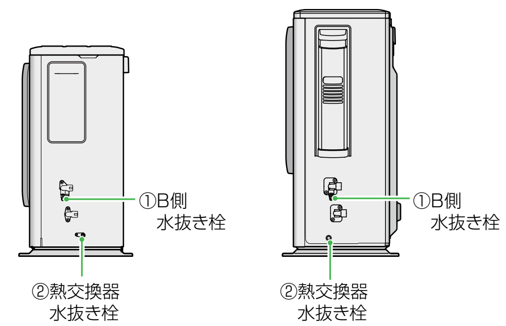


※〈薄型〉は、9 をご覧ください。

8 水抜き栓、ストレーナー、非常用取水栓、給水配管専用止水栓の取付位置

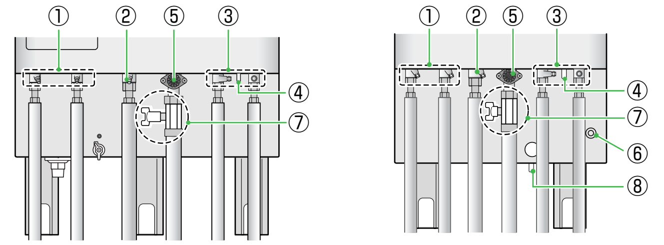
〈ヒートポンプユニット〉

一般地向け300L、370L、430L、460L用　／　一般地向け550L、寒冷地向け用



〈貯湯タンクユニット〉

薄型タンク以外　／　薄型タンク



①	ヒートポンプ配管用水抜き栓	⑤	ストレーナー
②	給湯配管用水抜き栓	⑥	非常用取水栓
③	ふろ配管用水抜き栓	⑦	給水配管用止水栓
④	ふろ循環ポンプ用水抜き栓	⑧	ヒートポンプ給水配管用水抜き栓

「⑦給水配管専用止水栓」が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。

水抜き栓の開きかた

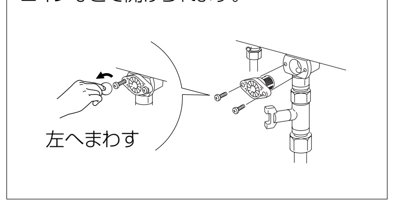
〈ヒートポンプユニット〉
①B側水抜き栓
②熱交換器水抜き栓

〈貯湯タンクユニット〉
①ヒートポンプ配管用
②給湯配管用
③ふろ配管用

〈貯湯タンクユニット〉
④ふろ循環ポンプ用

⑤ストレーナーの外しかた

コインなどで開けられます。



1	**前日から準備できる（タンクのお湯を抜くことがわかっている）場合、わき上げ停止日数を「2日」に設定し、わき上げを停止する**	●あらかじめ前日に設定しておけば、ムダにお湯をわき上げることがなくなります。 ●わき上げ停止日数の設定方法: 31
2	**ヒートポンプユニットの配管カバーを外す（貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの前面カバーも外す）**	●配管カバーの外しかた: 7 ●脚部カバーの外しかた: 8 9
3	**タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓（例えば台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す**	●熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。
4	**貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを下げ、「切」にする**	
5	**給水配管専用止水栓を閉じる** 貯湯タンクユニットへの給水を止めます。	
6	**貯湯タンクユニットの逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす** タンクへ空気を取り入れます。	
7	**貯湯タンクユニットの排水栓を開く** タンクの水（お湯）を抜きます。水が抜けるまでに約1時間かかります。〈薄型〉は、約2時間〜2時間20分かかります。	●排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。 ●排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。
8	**タンクの排水が終わったら、機器の水抜き（図に示す各ユニットの水抜き栓、非常用取水栓を開く）をする** 配管の水（お湯）を抜きます。容器などで受けて排水します。	●薄型のみ、水抜き栓と非常用取水栓を開いてください。
9	**給水配管のストレーナーを外し、逆止弁の解除ボタンを押す** 配管の水（お湯）を抜きます。容器などで受けて排水します。	●**水（お湯）が飛び散る場合がありますので、ご注意ください。**
10	**水抜き完了後、1時間程度放置してから、水抜き栓、非常用取水栓（薄型のみ）、排水栓を閉じ、ストレーナーを取り付ける**	
11	**手順2で外したヒートポンプユニットの配管カバーを取り付ける**	●手順2で外した脚部カバーの前面カバーも取り付けてください。

ポイント
- 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。タンクが負圧になり破損する原因となります。（逃し弁のレバーは再び使用するときまで戻さないでください。）
- 再び使用するときは、排水栓、水抜き栓が閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる（46）を行なってください。

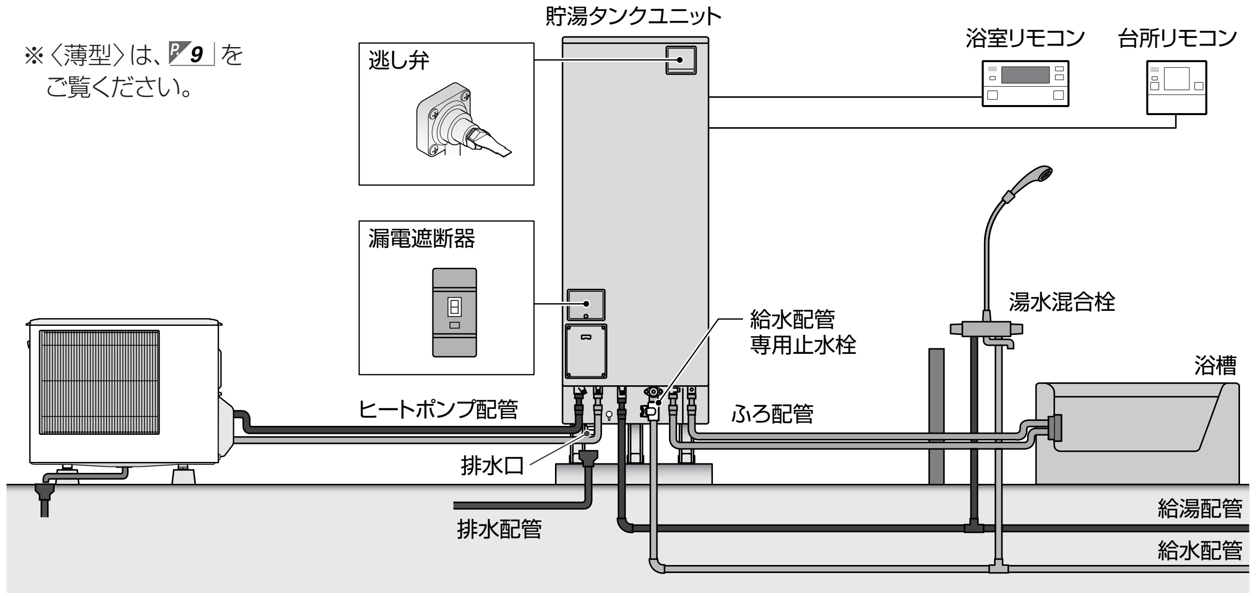
ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

タンクに水を入れる（準備）

タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で給湯機の使用を再開します。
またタンクの水抜きをせずに1カ月以上お湯を使用しなかった場合は、44 に従い、いったんタンクの水抜きをしてから次の手順を行なってください。
必ず、手順通りに行なってください。わき上げできない場合やエラーが表示されることがあります。

※給湯機を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。

※〈薄型〉は、9 をご覧ください。

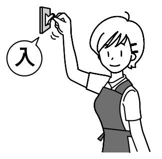


1.以下のことを確認する

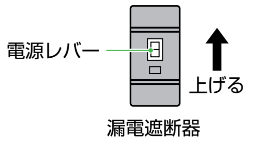
（1）貯湯タンクユニットの漏電遮断器が「切」になっていることを確認する
（2）ヒートポンプユニットの配管カバーを開け、水抜き栓（2カ所）が閉じていることを確認する 7
（3）貯湯タンクユニットの水抜き栓、非常用取水栓、排水栓、ストレーナーが閉じていることを確認する 8 9
（4）すべての蛇口（湯水混合栓）が閉じていることを確認する

2.貯湯タンクユニットを初期状態にする

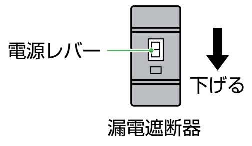
（1）200V電源ブレーカーを「入」にする



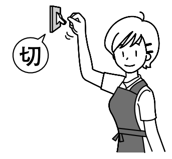
（2）漏電遮断器の電源レバーを上げ、「入」にする



（3）約30秒間「入」にした後、電源レバーを下げ、「切」にする



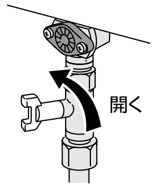
（4）200V電源ブレーカーを「切」にする



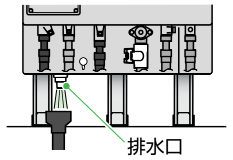
3.機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）を満水にする

（1）貯湯タンクユニットの逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす

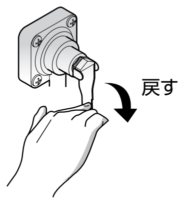
（2）給水配管専用止水栓を開き、貯湯タンクユニットへ給水する



（3）機器が満水になると、貯湯タンクユニットの排水口から水が出ます
（満水までの目安：約30分）



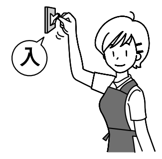
（4）満水確認後、逃し弁のレバーを戻す



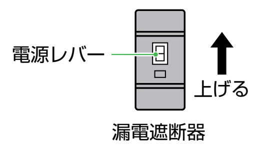
ポイント
- 機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）を満水にしてから電源を入れてください。
- タンクが満水になるまで蛇口（湯水混合栓）は開けないでください。流量センサーの故障の原因となります。
- 給水配管専用止水栓は閉じないでください。
- 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。

4.電源を入れる

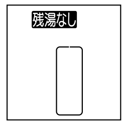
（1）200V電源ブレーカーを「入」にする



（2）漏電遮断器の電源レバーを上げ、「入」にする



- 電源を入れると、昼間でもわき上げを開始します。
（台所リモコンの残湯量表示は右図参照）



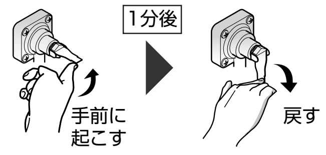
- わき上げモードが「深夜のみ」の場合、昼間にはわき上げを行いません。夜間時間帯になるとわき上げを行います。すぐにわき上げを行うときは、手順6終了後、満タンスイッチを押してください。

5.機器の空気を抜く（エア抜き運転）

（1）電源を入れる（上記4項）と、自動でヒートポンプ配管のエア抜き運転が始まります。
（約10分間、自動で停止）

エア抜き運転中は、台所リモコンの「わき上げ中」が点滅します。終了時は、点灯にかわり、わき上げを開始します。（深夜のみの場合は、わき上げを行ないません。）

（2）エア抜き運転終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分手前に起こす
（1分後、レバーを戻す）



- タンク内にお湯がある場合、エア抜き運転は行われません。台所リモコンの選択スイッチ「△」「▽」を同時に3秒押し、エア抜き運転を行なってください。
- エア抜き運転を途中で終了させる場合は、台所リモコンの選択スイッチ「△」「▽」を同時に3秒押してください。

6.リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻を確認します。
その他の設定（給湯温度、湯はり温度、湯はり湯量など）も工場出荷時状態に戻っていることがありますので、確認してください。

ポイント ● 初めてご使用の場合は電力モードを確認し、合っていない場合は、ご契約の電力制度に合わせてください。

電力契約モードの確認手順

1 台所リモコンの 決定 を3秒以上押す

2 選択スイッチ △ を4回押す

〈合っていない場合〉

3 給湯温度スイッチ ▲ ▼ を押してモードを選ぶ
（設定完了）

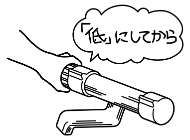
※時刻表示へ戻すときは、決定スイッチを押してください。

電力契約モードの内容（平成21年2月現在）

EP 01	● 東京電力:電化上手 ● 関西電力:はぴeタイム、はぴeプラン ● 沖縄電力:Eeらいふ
EP 02	● 中部電力:Eライフプラン
EP 03	● 中国電力:ファミリータイム
EP 04	● 北海道電力:eタイム3 ● 北陸電力:エルフナイト10プラス ● 九州電力:電化deナイト
EP 05	● 東北電力:やりくりナイト8 ● 東京電力:おトクなナイト8 ● 北陸電力:エルフナイト8 ● 中部電力:タイムプラン ● 関西電力:時間帯別電灯 ● 四国電力:電化Deナイト、得トクナイト ● 九州電力:時間帯別電灯［8時間型］● 沖縄電力:時間帯別電灯
EP 06	● 東北電力:やりくりナイト10、やりくりナイトS ● 東京電力:おトクなナイト10 ● 北陸電力:エルフナイト10 ● 九州電力:よかナイト10
EP 07	● 中国電力:エコノミーナイト
EP 08	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（A:夜間時間帯22時～6時）
EP 09	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（B:夜間時間帯23時～7時）
EP 10	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（C:夜間時間帯24時～8時）

7.お湯を使う

約8時間で満タンまでわき上がります。
やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。



⚠警告
使いはじめは、やけどに注意する
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

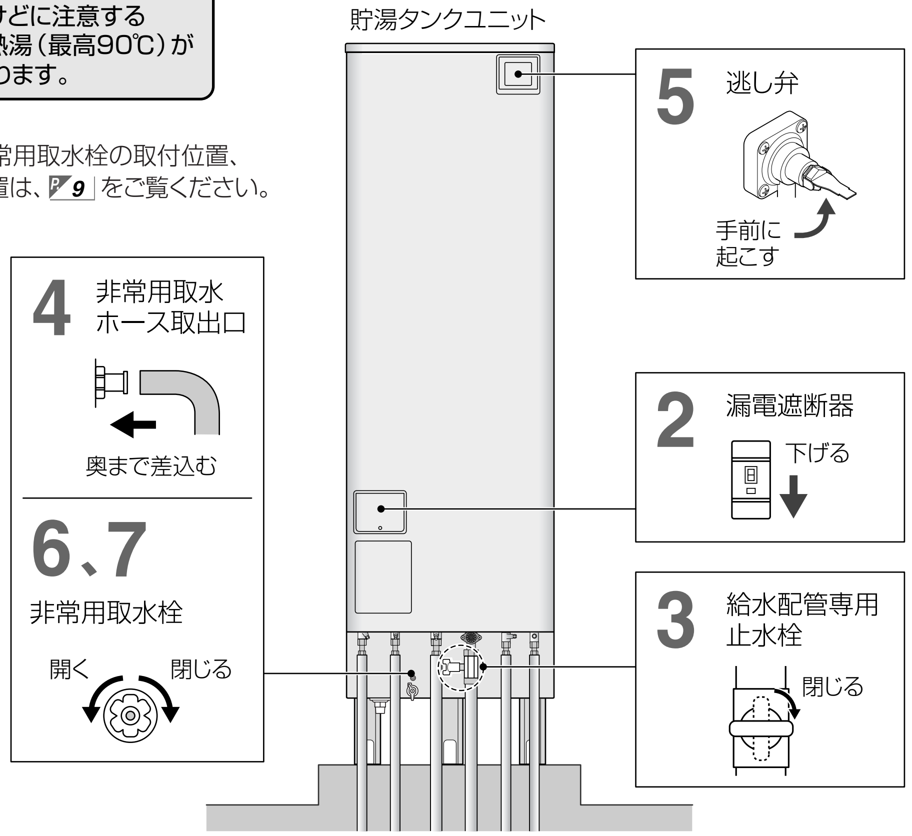
ご使用の前に　使いかた　こんなとき　故障かな

災害時にタンクの水を取り出す

タンクの水（お湯）を生活用水として利用できます。
非常用取水ホースは取扱説明書に同梱されています。

⚠警告
取水時は、やけどに注意する
取水中、急に熱湯（最高90℃）が出る場合があります。

※〈薄型〉の非常用取水栓の取付位置、配管等の位置は、9をご覧ください。



1 **貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの前面カバーを外す**（外しかた：8 9）

2 **貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを下げ、「切」にする**
電気の供給を停止します。

3 **給水配管専用止水栓を閉じる**
貯湯タンクユニットへの給水を止めます。

4 **非常用取水ホースを取出口に取り付ける**

5 **貯湯タンクユニットの逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす**
タンクへ空気を取り入れます。

6 **非常用取水栓を開く**
タンクの水（お湯）を取り出します。バケツなどで受けます。

〈取水が終わったら〉

7 **非常用取水栓を閉じる**

ポイント ● 再び使用するときは、逃し弁のレバーを戻し、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる（46）を行なってください。

定期点検（有料）

給湯機を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。
定期点検については、据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

❑定期点検の主な内容

項　目	内　　容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）、給水用具（逆流防止装置）※などの点検および消耗部品の交換
清　　掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など）、貯湯タンクユニットのストレーナーの掃除

※給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて点検をします。

❑消耗部品

下記部品の交換時は、当社別売部品をご指定ください。

- 減圧弁
- 逃し弁
- パッキン類
- 混合弁
- ポンプ
- バイパス弁
- センサー類
- 電磁弁

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

仕様

● 耐塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BS」が、耐重塩害仕様タイプは「-BSG」が付きます。

区分	項目						
システム	タイプ	一般地向け					
システム	形名	SRT-HP55W4	SRT-HP46W4 SRT-HP46WD4	SRT-HP46WDM4	SRT-HP37W4 SRT-HP37WD4	SRT-HP46WU4	SRT-HP37WU4
システム	適用電力制度	季節別時間帯別電灯・時間帯別電灯（通電制御型）					
システム	定格電圧（周波数）	単相200V（50／60Hz共用）					
システム	最大電流	19A	17A		16A	17A	16A
システム	わき上げ温度	約65℃～約90℃					
システム	給水器具認証番号	W009-20020-100					
システム	年間給湯効率（APF）注1 ※7	3.1	3.3	3.2	3.3		
貯湯タンクユニット	形名	SRT-HPT55W4	SRT-HPT46W4 SRT-HPT46WD4	SRT-HPT46WDM4	SRT-HPT37W4 SRT-HPT37WD4	SRT-HPT46WU4	SRT-HPT37WU4
貯湯タンクユニット	タンク容量	550L	460L	460L	370L	460L	370L
貯湯タンクユニット	設置場所	屋外（推奨）	屋外（推奨） 屋内・屋外	屋内・屋外	屋外（推奨） 屋内・屋外	屋外（推奨）	屋外（推奨）
貯湯タンクユニット	外形寸法 高さ	2100mm	2170mm	1800mm	1830mm	2170mm	1830mm
貯湯タンクユニット	外形寸法 幅	700mm	630mm	700mm	630mm	630mm	630mm
貯湯タンクユニット	外形寸法 奥行	825mm	760mm	825mm	760mm	760mm	760mm
貯湯タンクユニット	質量（満水時）	88kg（638kg）	77kg（537kg） 78kg（538kg）	79kg（539kg）	68kg（438kg） 69kg（439kg）	85kg（545kg）	75kg（445kg）
貯湯タンクユニット	水側最高使用圧力（逃し弁圧力）	193kPa				290kPa	
貯湯タンクユニット	ふろ保温時消費電力	117W					
貯湯タンクユニット	凍結防止ヒーター消費電力	48W	36W	48W	36W		
ヒートポンプユニット	形名	SRT-HPU72A4	SRT-HPU60A4	SRT-HPU60A4	SRT-HPU45A4	SRT-HPU60A4	SRT-HPU45A4
ヒートポンプユニット	設置場所	屋外専用					
ヒートポンプユニット	外形寸法 高さ	732mm	638mm				
ヒートポンプユニット	外形寸法 幅（配管カバー寸法）	800（＋80）mm	800（＋64）mm				
ヒートポンプユニット	外形寸法 奥行	285（＋23）mm	285（＋16）mm				
ヒートポンプユニット	質量	56kg	52kg		48kg	52kg	48kg
ヒートポンプユニット	中間期加熱能力／消費電力 ※2 ※3	7.2kW／1.73kW	6.0kW／1.34kW		4.5kW／1.01kW	6.0kW／1.34kW	4.5kW／1.01kW
ヒートポンプユニット	夏期加熱能力／消費電力 ※2 ※4	4.5kW／0.85kW	4.5kW／0.85kW		4.5kW／0.87kW	4.5kW／0.85kW	4.5kW／0.87kW
ヒートポンプユニット	冬期高温加熱能力／消費電力 ※1 ※2 ※5	7.2kW／2.50kW	6.0kW／2.00kW		4.5kW／1.50kW	6.0kW／2.00kW	4.5kW／1.50kW
ヒートポンプユニット	冷媒名／冷媒量	CO_2（R744）／1.04kg	CO_2（R744）／1.10kg		CO_2（R744）／0.82kg	CO_2（R744）／1.10kg	CO_2（R744）／0.82kg
ヒートポンプユニット	運転音（中間期※3／冬期※5）※6	44／47dB	42／47dB		38／44dB	42／47dB	38／44dB
ヒートポンプユニット	中間期エネルギー消費効率（COP）注2	4.2	4.5				

区分	項目					
システム	タイプ	一般地向け			寒冷地向け	
システム	形名	SRT-HP30WD4	SRT-HP43WZ4	SRT-HP37WZ4	SRT-HPK46W4 SRT-HPK46WD4	SRT-HPK37W4 SRT-HPK37WD4
システム	適用電力制度	季節別時間帯別電灯・時間帯別電灯（通電制御型）				
システム	定格電圧（周波数）	単相200V（50／60Hz共用）				
システム	最大電流	16A	17A	16A	18A	
システム	わき上げ温度	約65℃～約90℃				
システム	給水器具認証番号	W009-20020-100				
システム	年間給湯効率（APF）注1 ※7	3.0	2.8		3.3	
貯湯タンクユニット	形名	SRT-HPT30WD4	SRT-HPT43WZ4	SRT-HPT37WZ4	SRT-HPTK46W4 SRT-HPTK46WD4	SRT-HPTK37W4 SRT-HPTK37WD4
貯湯タンクユニット	タンク容量	300L	430L	370L	460L	370L
貯湯タンクユニット	設置場所	屋内・屋外	屋外専用	屋外専用	屋外（推奨） 屋内・屋外	屋外（推奨） 屋内・屋外
貯湯タンクユニット	外形寸法 高さ	1800mm	2170mm	1900mm	2170mm	1830mm
貯湯タンクユニット	外形寸法 幅	600mm	1120mm	1120mm	630mm	630mm
貯湯タンクユニット	外形寸法 奥行	650mm	430mm	430mm	760mm	760mm
貯湯タンクユニット	質量（満水時）	67kg（367kg）	96kg（526kg）	87kg（457kg）	78kg（538kg） 78kg（538kg）	69kg（439kg） 69kg（439kg）
貯湯タンクユニット	水側最高使用圧力（逃し弁圧力）	193kPa				
貯湯タンクユニット	ふろ保温時消費電力	146W（50Hz）／177W（60Hz）	117W			
貯湯タンクユニット	凍結防止ヒーター消費電力	60W	84W		72W	
ヒートポンプユニット	形名	SRT-HPU45A4	SRT-HPU60A4	SRT-HPU45A4	SRT-HPUK60A4	SRT-HPUK45A4
ヒートポンプユニット	設置場所	屋外専用				
ヒートポンプユニット	外形寸法 高さ	638mm			732mm	
ヒートポンプユニット	外形寸法 幅（配管カバー寸法）	800（＋64）mm			800（＋80）mm	
ヒートポンプユニット	外形寸法 奥行	285（＋16）mm			285（＋23）mm	
ヒートポンプユニット	質量	48kg	52kg	48kg	57kg	
ヒートポンプユニット	中間期加熱能力／消費電力 ※2 ※3	4.5kW／1.01kW	6.0kW／1.34kW	4.5kW／1.01kW	6.0kW／1.34kW	4.5kW／0.98kW
ヒートポンプユニット	夏期加熱能力／消費電力 ※2 ※4	4.5kW／0.87kW	4.5kW／0.85kW	4.5kW／0.87kW	4.5kW／0.85kW	4.5kW／0.85kW
ヒートポンプユニット	冬期高温加熱能力／消費電力 ※1 ※2 ※5	4.5kW／1.50kW	6.0kW／2.00kW	4.5kW／1.50kW	6.0kW／2.00kW	4.5kW／1.50kW
ヒートポンプユニット	冷媒名／冷媒量	CO_2（R744）／0.82kg	CO_2（R744）／1.10kg	CO_2（R744）／0.82kg	CO_2（R744）／1.04kg	
ヒートポンプユニット	運転音（中間期※3／冬期※5）※6	38／44dB	42／47dB	38／44dB	42／47dB	38／44dB
ヒートポンプユニット	中間期エネルギー消費効率（COP）注2	4.5				4.6

注1.年間給湯効率は（社）日本冷凍空調工業会の規格であるJRA4050:2007Rに基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、1年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお、掲載値は、省エネモードである「おまかせ」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等により変わります。

※一定の条件とは、東京・大阪を平均とした気象条件・給水温度で42℃のお湯を1日に約425L使用する条件等を想定したものです。

年間給湯効率＝1年で使用する給湯に係る熱量÷1年間で必要な消費電力量

APFは（Annual Performance Factor of hot water supply）の略

注2.中間期の消費電力1kWあたりの加熱能力を表したものです。

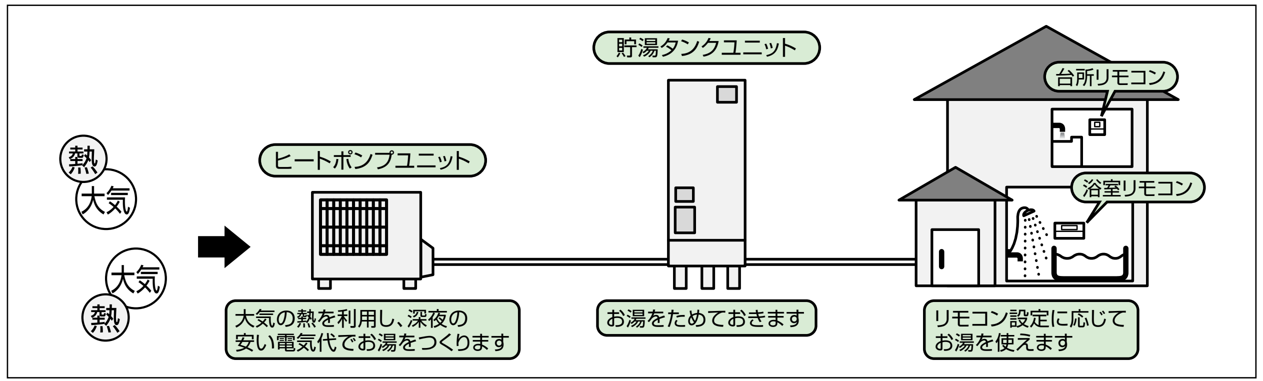
中間期エネルギー消費効率＝中間期加熱能力÷中間期消費電力

COPは成績係数（Coefficient of performance）の略

※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
※2 わき上げ終了直前では、加熱能力が低下することがあります。
※3 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、わき上げ温度65℃
※4 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）25℃/21℃、水温24℃、わき上げ温度65℃
※5 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、わき上げ温度90℃
※6 運転音はJRA4050規格に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
※7 算出条件（出湯温度）：夏期65℃、中間期65℃、冬期標準65℃、冬期高温90℃、着霜期高温90℃、冬期標準給湯モード65℃、着霜期標準給湯モード70℃

機器の役割など

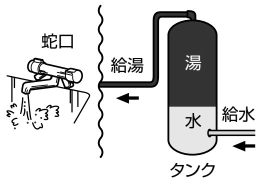
機器の役割



給湯機の基本原理

①自動給水・押上げ方式です

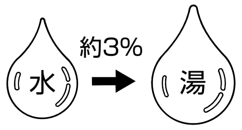
蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通って自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯（水）で満たされています。



②水は体積膨張します

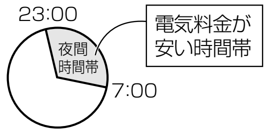
水がお湯になると必ず体積膨張を起こし、約3%増加します。

例えば、370Lの温水器では、約11L分増えます。この増えた分を逃す目的で逃し弁が取付けられます。わき上げ中に逃し弁からお湯が少しずつ排水されるのは、故障ではありません。正常な動作です。



③主に夜間に運転を行い、わき上げます

割安な深夜電力を利用して、タンク内のお湯をわき上げます。（わき上げモードが「深夜のみ」以外のときは、お湯が少なくなると昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。）



※ご契約の電力制度によって時間帯は異なります。

④わき上げ中はヒートポンプユニットから運転音がします

運転中は運転音がします。また、ドレン口から少量の水が出ることがあります。

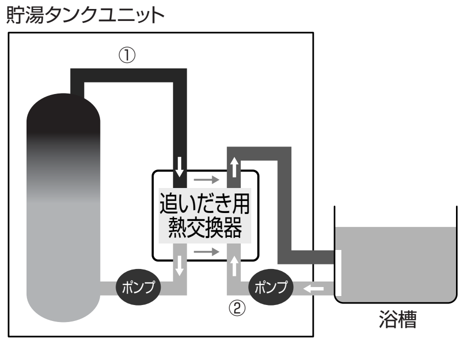
⑤タンク貯湯式です

わき上げたお湯をタンクに貯湯し、水を混合させて設定温度での給湯を行います。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

追いだきの仕組み

タンクからの熱いお湯（図中①）と浴槽からのぬるいお湯（図中②）を熱交換器で熱交換することで、浴槽からのぬるいお湯をあたためます。（追いだき）

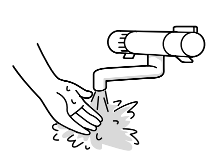
※ふろ配管は、独立した回路となっていますので、おふろのお湯がタンク内に入ることはありません。



注.説明に必要な部品、配管のみ記載しています。

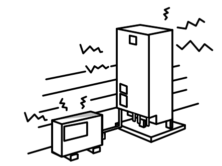
ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

故障かな?と思ったら



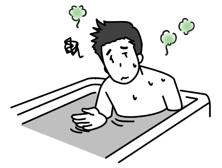
お湯関係

症状	処置・確認事項
お湯が出ない 出が悪い	●給水配管のストレーナーにゴミがつまっている場合は、ゴミを取り除いてください。(P44) ●給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。 ●断水時は、断水が終わるまで待ってください。 ●配管凍結している場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。 ●お湯の開き方が少ないと、残湯があってもお湯が出ない場合があります。 ●湯はりと給湯を同時に使用すると流量の低下が起こります。
お湯がたりない	●お湯をたくさん使用した場合は、満タンわき増しをご利用ください。(P28) ●わき上げモードの設定が「深夜のみ」「少なめ」の場合は、「おまかせ」または「多め」へ設定を変えてください。(P29) ●台所リモコンに「わき上げ中」が表示されていないときに、逃し弁の排水口から水(お湯)が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。(P40) ●ハイパワー給湯タイプは、その他のタイプよりも勢いよくお湯が出ますので、お湯がたりなくなる場合は、こまめに止めたり、蛇口で湯量を調整したりしてください。
お湯がわかない	●200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は、「入」にしてください。 ●停止日数設定中は、停止日数を解除し、満タンわき増しを利用してください。(停止日数:P31、満タンわき増し:P28)
お湯が白く 濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。
お湯から油が出る、 臭い	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。臭いが気になる場合は本書の手順(P44 P46)によりタンク内の湯を入れかえてください。 ●循環洗浄を行なってください。(P38)
タンク内の 温度が低い	●わき上げ温度はヒートポンプユニットでわき上げるお湯の温度です。途中の配管の放熱などにより、タンクにたまるお湯の温度は、わき上げ温度よりも低くなります。 ●タンク内の温度は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下します。
蛇口のお湯の 温度が低い	●配管の放熱によって、温度が低くなることがあります。 ●タンク内の温度が低いとき(特にわき上げモードが「少なめ」の場合など)は、設定より低い温度のお湯が出ることがありますので、「おまかせ」または「多め」をおすすめします。 ●混合水栓で水と混合されている場合は、設定温度よりも低くなることがあります。
蛇口のお湯の 温度が変動する	●給湯中に湯はり、自動たし湯、たっぷり、ぬるく、高温さし湯をすると給湯温度が多少変動することがあります。
残り湯が臭う	●前日の残り湯を追いだき等をしてご使用になる場合、浴槽のお湯が臭うことがあります。臭いが気になる場合はお湯を入れかえてご使用ください。
浴槽に青い線がつく	●湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したもので、身体に害はありません。台所用の油汚れ専用の洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。
水が青く見える	●光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。浴槽等はよく洗ってください。青い線がつきにくくなります。



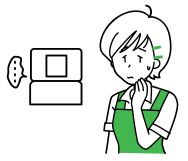
給湯機

症状	処置・確認事項
貯湯タンクユニットの排水口からお湯(水)が出ている	●わき上げ中(リモコンに「わき上げ中」が表示されている場合)は体積が増えた分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。 ●リモコンに「わき上げ中」の表示がないときにお湯(水)が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。(P40)
ヒートポンプユニットが運転/停止を繰り返す	●外気温度が低いときは、ヒートポンプユニットの熱交換器の除霜のためファンの運転/停止を繰り返します。
ヒートポンプユニットから水が出ている	●運転中はドレン口から少量の水が出ることがあります。 ●温度、湿度によって、ヒートポンプユニットの底面に結露することがあります。
昼間にヒートポンプユニットが動く	●夜間時間帯のわき上げだけでは湯量が足りない場合、昼間時間帯に不足分のわき上げを行います。(過去1週間の使用湯量を学習して、その日の必要湯量を予測します。) ●冬期はヒートポンプ配管の凍結防止のため、ヒートポンプユニットが動くことがあります。
運転停止を設定していてもヒートポンプユニットが動く	●外気温度が低下すると、凍結防止のための運転を行うことがあります。 ●「電力契約モード」がお客さまの電力契約と合っていない場合は、設定し直してください。(P47)
ヒートポンプユニットの運転音がうるさい	●わき上げ中は運転音が出ます。冬期等の外気温度が低い環境では、運転音は大きくなる場合があります。また、外気温度が下がり、湿度が高いときは、自動霜取装置がはたらきますので、運転音が悪化する場合があります。
夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行わない	●給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻にお湯がわき上がるよう調整しています。(ピークシフト機能)
わき上げ運転中ヒートポンプユニットの背面が霜で白くなる	●冬期運転中は蒸発器のフィンに霜がつくことがあります。 ●フィンに付着した霜がファンにあたり、音が出ることがあります。



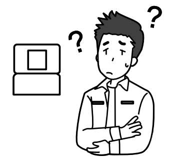
浴槽アダプター

症状	処置・確認事項
浴槽アダプターから汚れが出る	●配管内にたまった汚れが出てきています。循環洗浄を行なってください。また、浴水を排水するときは洗浄スイッチを押してください。浴槽内にタオルなどを持ち込むと、タオルの繊維等が汚れとして浴槽内や、配管内に残ることがあります。
浴槽アダプターの内側が赤っぽく汚れている	●浴槽アダプターの内側に付く赤っぽい汚れは水あかですのでこまめなお手入れをお願いします。(P40)



リモコン表示部

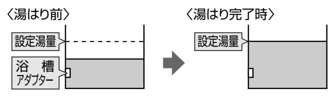
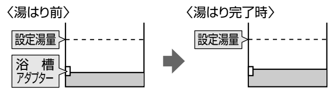
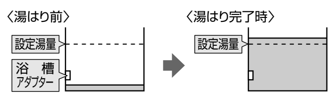
症状	処置・確認事項
点灯しない（電源が入らない）	●漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店（販売店）へご連絡ください。
時刻表示が「00:00」で点滅する	●時刻を合わせ直してください。（P25）
台所リモコンの表示が消えている	●約1分間以上、スイッチ操作や音声ガイダンスがない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。（バックライト自動消灯機能）
浴室リモコンの表示が消えている、時々点灯する	●「自動消灯モード」が設定されているときに、給湯機を約10分間以上使用しない場合には節電のために、バックライトが消灯します。お湯を使ったり、浴室リモコンのいずれかのスイッチを押すと再び点灯します。また、約10分間以上使用しないままでいるとバックライトが消灯します。



操作

症状	処置・確認事項
タンク内の温度が上がらない	●以下のことを行うとタンク内の湯温が上がらない場合があります。配管からの放熱や外気温度が低い場合も同様です。 ①台所リモコンに「わき上げ中」が表示されているときにお湯を使用した場合 ②わき上げモードの設定をかえた場合 （「少なめ」→「多め」または「おまかせ」→「多め」） ③給水水温が低く、残湯量が少ない場合 ●給水水温…10℃以下●残湯量…20L未満
満タンスイッチを押してもわき上げを開始しない	●タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。「満タンわき増し」を設定するとタンク内のお湯が約50L以上減ったとき自動的にわき上げを開始します。
お湯を使っていないのに残湯量表示が減る	●自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても残湯量が減ることがあります。 ●自動保温や追いだきを行うと残湯量表示が減ることがあります。タンク内のお湯を使って自動保温や追いだきを行うためです。
湯はりができない	●浴槽の排水栓が閉じているか確認してください。または、湯はりの設定量を増やして湯はりをしてください。 ●リモコンに「残湯なし」が表示されている場合は、満タンわき増しを行なってタンク内をわき上げてから、湯はりをしてください。（P28） ●浴槽の残り湯が、浴槽アダプター付近のとき湯はりを行うと、湯はりが途中で停止する場合があります。残り湯を排水してから湯はりを行なってください。 ●浴槽アダプターのお手入れを行なってください。 ●浴槽アダプターより上まで湯はりされている場合は、ふろ配管があか等でつまり始めていることがありますので、循環洗浄を行なってください。

症状	処置・確認事項
湯はり時間が長い	●湯はり中にシャワーや台所などでお湯を使うと湯はりの時間が長くなります。 ●湯はり時間は、配管施工上の条件や水源水圧、蛇口などの使用状況により、多少変わることがあります。また、設置後1週間程度は、浴槽形状を学習するため、湯はり時間が長くなります。
設定（予約）した時刻に湯はりが完了しない	●水源水圧の変動などにより、設定時刻に湯はりが完了しない場合があります。 ●湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、設定時刻に湯はりが完了しない場合があります。 ●現在時刻が合っていないと、設定時刻に湯はりは完了しません。時刻を合わせてください。
「湯はり温度」が設定した温度より低い	●湯はりの「温度」は目安温度です。浴槽内の温度は配管や浴槽に熱をうばわれるため、それよりも少し下がることがあります。次回から湯はりの温度を上げてください。（湯はり後、自動保温動作で設定した温度まで上がります。）
「湯はり量」が設定した量より多い（あふれる）	●浴槽に残り湯がある状態（浴槽アダプター以下）で湯はりを行うと、湯はり完了時に、残り湯分だけお湯が増えます。残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。 ●浴槽の容量以上に設定されていないか確認してください。浴槽の容量に対して7～8割が適正量です。（P17） ●設定湯量を湯はりしますので、湯はり中に蛇口やシャワーからお湯をたすと、あふれることがあります。 ●循環洗浄を行い、浴槽アダプターや配管のつまりなどの除去を行なってください。
「湯はり量」が安定しない	●浴槽に残り湯があるときにふろ自動スイッチを押すと、残り湯の量によって湯はり動作が異なります。残り湯の状態によって、湯があふれたり、湯がたされないなど、湯量が安定しないことがありますので、残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。

残り湯が浴槽アダプターより多いとき		設定温度まで追いだきしてから、設定湯量までお湯をたします。通常の湯はりと同様に、設定した温度・水位で湯はりが完了します。なお、湯はり開始時に設定湯量以上の湯がある場合は、呼び水分だけお湯が増えます。
残り湯が浴槽アダプター付近のとき		お湯はりが途中で中断されたり、残り湯分だけお湯が増える場合があります。（残り湯を排水してから湯はりを行なってください。）
残り湯が浴槽アダプターより少ないとき		湯はり完了時に、残り湯分だけ、お湯が増えます。また、温度も設定した温度より低くなります。（お湯があふれる場合がありますので残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。）

症状	処置・確認事項
湯はりが途中で止まる（断続的に湯はりする）	●ふろ配管の空気を抜く動作です。（ふろ自動ランプが点滅していれば正常に湯はりを行なっています。） ●浴槽の水位を確認するために湯はりを中断することがあります。（ふろ自動ランプが点滅していれば正常に湯はりを行なっています。） ●特に設置後1週間程度は浴槽形状を学習するため、1回の湯はりで複数回停止します。
ふろ自動運転を「切」にしているのにポンプが動作する	●以下の場合は、ポンプが動作することがあります。 ①ふろ自動運転を「切」にした直後 保温動作中（ポンプ動作中）にふろ自動運転はすぐには止まりません。 ②浴槽の凍結予防運転（P42）時（浴室リモコンに「凍結予防」と表示） ③追いだき中 ④機器の保護動作（最大90秒）
ふろ自動を「切」にしても浴槽アダプターから冷たい水が出る、音がする	●ふろ配管の凍結予防運転（P42）を行なっています。（浴室リモコンに「凍結予防」と表示）
給湯温度を変更できない	●浴室リモコンの優先スイッチを押してから、給湯温度を変更してください。（P18）

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

症状	処置・確認事項
追いだき、高温さし湯ができない	●浴槽アダプターのお手入れを行なってください。（P28） ●湯はり中は使用できません。 ●浴槽のお湯が浴槽アダプターより少ない場合は、使用できません。 ●リモコンに「残湯なし」が表示されている場合は使用できません。満タンわき増しを行なってタンク内をわき上げてから、追いだき、高温さし湯を使用してください。 ●蛇口からおふろにお湯をたした場合、追いだき、高温さし湯ができない場合があります。 ●スイッチを3秒以上押し続けてください。 〈追いだき〉「あつく」スイッチを3秒以上押す 〈高温さし湯〉「あつく」と「たっぷり」スイッチを同時に3秒以上押す
追いだき、高温さし湯を中止しても機器が動作する	●追いだきを途中で停止した場合、すぐには止まりません。配管内に残った熱いお湯を押し出すため、しばらくポンプが動作します。 ●高温さし湯を途中で停止した場合、すぐには止まりません。配管内に残った熱いお湯を押し出すため、約8L〜10Lのお湯が出ます。
高温さし湯の温度が低い	●タンク内の温度が低いとき（特に、わき上げモードが「少なめ」の場合など）や配管などの条件によっては、設定より低い温度のお湯が出ることがあります。 ●シャワー等を使用しているときに高温さし湯を行うと、高温さし湯の温度が設定より低い温度になることがあります。
追いだきや自動保温が途中で止まる ふろ自動ランプが消える	●リモコンに「残湯なし」が表示されている場合は、満タンわき増しを行なってください。 ●浴槽アダプターのお手入れを行なってください。（P40） ●浴槽アダプター付近まで水位が低下すると消灯します。 ●浴槽アダプターより上まで湯はりされている場合は、ふろ配管があか等でつまり始めていることがありますので、循環洗浄を行なってください。
自動たし湯が働かない	●水位が下がってもすぐには設定水位にならない場合があります。 ●スマート機能〈04〉で自動たし湯「切」にしている場合は動作しません。（P37） ●浴槽水位が浴槽アダプター付近まで低下すると、その後自動たし湯を行わなくなることがあります。 ●浴槽アダプターのお手入れを行なってください。（P40）
音声ガイダンスが聞こえない	●「音声を切ります」以外の設定にしてください。
通話できない	●「通話」スイッチを押してから約1分間以上たっている場合は、もう一度「通話」スイッチを押してください。 ●音量設定が「最小」になっていて聞こえにくい場合は、「標準」または「最大」にしてください。 ●リモコンに向かって話していない、またはリモコンに近づきすぎている場合は、適切な位置で通話してください。 ●通話中にスピーカーから「ピー」という音が出る場合は、通話音量を下げてください。
突然、リモコンのブザーが鳴る	●優先スイッチを押したときや給湯温度を60℃に変更したときは、リモコンの音声ガイダンスやブザーが鳴ります。
循環洗浄ができない	●蛇口からおふろにお湯をたした場合、循環洗浄できない場合があります。
凍結予防運転を行わない	●蛇口からおふろにお湯をたした場合、凍結予防運転を行わない場合があります。 ●凍結予防運転モードが「切」になっている場合は「入」にしてください。（P36）

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口（P59）」へご相談ください。

リモコンにエラーが表示された場合

リモコンにエラーが表示された場合は、下記にしたがって処置をしてください。
処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口（P59）」へご相談ください。

表示	原因・処置
U00	●給湯機の給水口にお湯が供給されています。給湯機の給水口に水を供給してください。ソーラー温水器や給湯機が接続されている時は据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。（P59） ●給水配管専用止水栓が閉じているときに湯側の蛇口を開きました。給水配管専用止水栓を開いてから、湯側の蛇口を開いてください。（P8 P9） ●断水時や配管が凍結しているときに湯側の蛇口を開きました。断水時は断水が終わるまで待ち、湯側の蛇口を開いてください。凍結しているときは、給水配管専用止水栓を閉じて、据付工事店（販売店）へご連絡ください。
U09	●停電などで初期設定に戻ったとき、浴槽にお湯（残水）が入っている状態で湯はりをしています。いったん、浴槽のお湯（残水）を排水してから湯はりをしてください。
P05	●タンク内に水が無い場合は、タンクを満水にしてください。 ●給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。（P8 P9） ●断水時は、断水が終わるまで待ってください。 ●配管凍結している場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。
H03	●給湯機とリモコンが正しい組み合わせではありません。据付工事店（販売店）へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。
H 10	●貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。（わき上げも行いません。） 正しい組み合わせでも「H10」が表示される場合は、据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。（P59）
H 11	●貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。（わき上げは行います。）
その他の表示（E05）など	●給湯機の点検が必要です。200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。（P8 P9 P59）

アフターサービス

■保証書（添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。）

●据付工事説明書（別添付）で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間

2年間	本体（逃し弁、減圧弁）、リモコン、リモコンケーブル、パッキン
3年間	熱交換器、コンプレッサー
5年間	タンク不良による水漏れ

※保証期間を延長できる「延長保証制度」があります。（詳細は下記参照）

■補修用性能部品の保有期間

●当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（右一覧表）へご相談ください。

■修理を依頼されるときは

●「故障かな?と思ったら」（P52）にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店（販売店）にご連絡ください。

●**保証期間中は**

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店（販売店）が修理させていただきます。

●**保証期間が過ぎているときは**

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

●**修理料金は**

技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

●**ご連絡いただきたい内容**

- 品名：自然冷媒CO_2ヒートポンプ給湯機
- 形名：（例）SRT-HPT46WD4（エスアールテー エイチピーテー ダブリュウ デー）
- お買上げ日：年月日
- 故障の状況：できるだけ具体的に
- お名前・ご住所（付近の目印なども）・電話番号・訪問希望日

※形名は貯湯タンクユニットの前面カバーに表示されています。（P8 P9）

●**据付（接続・調整・取扱説明等）を依頼されると有料となることがあります。**

延長保証制度

延長保証期間が 8年間 と 5年間 の2タイプご用意しています。

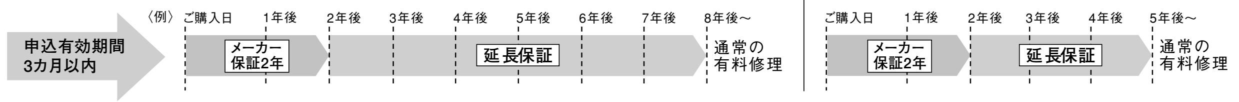
〈保証期間〉

延長保証期間8年間の場合

商品購入日から8年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で8年間となります。

延長保証期間5年間の場合

商品購入日から5年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で5年間となります。



●製品ご購入時あるいはご購入日から3カ月以内にお申し込みください。●延長保証はメーカー保証終了後からのスタートとなります。延長保証は、メーカー保証を含め、ご購入日〈使用開始日〉から8年間または5年間の長期保証となります。また延長保証は終了後は通常の有料修理に移行いたします。●保証金額は本体のご購入価格が限度となります。●当制度の詳細は三菱電機延長保証申込受付センターまでお問い合わせください。

〈保証内容〉延長保証期間中に対象商品に故障が発生した場合に、修理費を保証します。 保証する修理費用 = 技術料 + 部品代 + 出張料

〈延長保証対象商品と保証料〉

ヒートポンプ式電気給湯機
三菱エコキュート

8年間保証料24,400円（税抜価格23,238円）
5年間保証料11,340円（税抜価格10,800円）

2009年2月現在（保証料は変更する場合がありますのでご注意ください）

資料のご請求はこちらへ **三菱電機延長保証申込受付センター**

0120-867-789

受付時間：平日午前9:00～午後5:30
（年末年始を除く）

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**各窓口** へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客さまからご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事及び製品のお取り扱いに関連してお客さまよりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客さまからご了解をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
　①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
　②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

全国どこからでも おかけいただけるフリーコール

フリーコール **0120-139-365**

いつも サンキュー 365日 （無料）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX (03) 3413-4049（有料）	(03) 3414-9655（有料）

■ご相談対応　平　日　9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

地域	県	窓口	
北海道・東北	北海道	東日本フロントセンター	
	宮城	東日本フロントセンター	
	青森	青　森	(017)773-8381
		八　戸	(0178)28-8544
	岩手	盛　岡	(019)637-7454
		水　沢	(0197)25-4511
	秋田	秋　田	(018)865-4471
		横　手	(0182)32-1785
		大　館	(0186)42-2781
	山形	山　形	(023)624-0018
		鶴　岡	(0235)24-6161
	福島	郡　山	(024)959-6543
		会　津	(0242)27-4426
		原　町	(0244)24-2842
		いわき	(0246)26-1822

地域	都県	窓口
関東・甲信越	東京、神奈川、千葉、茨城、埼玉、栃木、群馬、山梨、新潟、長野（飯田地区を除く）	東日本フロントセンター
	長野（飯田地区）	西日本フロントセンター
東海	静岡	東日本フロントセンター
	愛知、三重、岐阜	西日本フロントセンター
北陸	石川、富山、福井	西日本フロントセンター

地域	府県	窓口	
関西	大阪／奈良、和歌山／兵庫／京都、滋賀	西日本フロントセンター	
中国	広島／山口、島根／鳥取、岡山	西日本フロントセンター	
四国	香川／徳島、高知／愛媛	西日本フロントセンター	
九州・沖縄	福岡／佐賀	東日本フロントセンター	
	長崎	長　崎	(095)834-1116
		佐世保	(0956)30-7740
	熊本	熊　本	(096)380-0211
		八　代	(0965)33-5173
	大分	大　分	(097)558-8803
	宮崎	宮　崎	(0985)56-4900
		延　岡	(0982)21-3540
	鹿児島	鹿児島	(099)260-2421
	沖縄	沖　縄	(098)898-3333

●東日本／西日本フロントセンター

フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）

インターネット **www.melsc.co.jp**

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
東日本フロントセンター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111（有料）
西日本フロントセンター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

困ったときは

14 自動でおふろにお湯を入れる

19 あつくする（追いだき）

25 時刻を合わせる

28 お湯が少なくなったとき

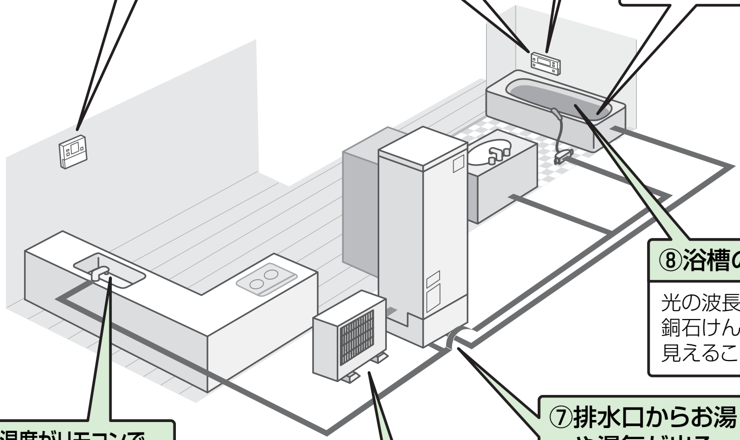
48 災害などによる断水

52 故障かな?

58 アフターサービス

51 機器の役割

よくあるご質問



①ふろ機能が動作しない

浴槽アダプターの目詰まりが考えられますのでフィルターを点検してください。P40

②画面が点灯・消灯する

【台所】 P10 P12
スイッチ操作や音声ガイダンスが流れると画面が点灯します。
※お湯の使用では点灯しません。

【浴室】 P11 P13
自動消灯モード設定中でも、スイッチ操作やお湯の使用時等は画面が点灯します。

③浴槽アダプターから水が出る、勝手に運転する

ふろ配管の凍結予防運転を行なっています。 P42 P53

④お湯の温度がリモコンで設定した湯温よりも低い

配管の放熱によって、温度が低くなることがあります。 P52

⑤昼間にヒートポンプユニットが動く

夜間時間帯のわき上げだけではお湯が不足する場合、昼間時間帯に不足分のわき上げを行います。

⑥ヒートポンプユニットから水が出ている、音がする

運転中はドレン口から少量の水が出ることがあります。
冬期等の外気温度が低い環境や湿度が高いときは運転音が悪化する場合があります。 P53

⑦排水口からお湯（水）や湯気が出る

わき上げ中は、お湯が少しずつ排水されます。 P53

⑧浴槽の水が青い

光の波長や浴槽の色、銅石けんによって青く見えることがあります。

製品形名〈製造番号〉	SRT-　　　　　　〈　　　　　〉	据付工事店（販売店）の店名・住所・電話番号
台所リモコン形名	RMC-	
浴室リモコン形名	RMC-	
お買上げ日	年　　月　　日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

愛情点検

★長年ご使用の給湯機の点検を!

●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

こんな症状はありませんか	●水が漏れている ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。

三菱電機株式会社

群馬製作所　〒370-0492 群馬県太田市岩松町800

電話番号　0276-52-1111（代表）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

T965Z081H04〈2009-09〉